

令和4年12月23日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

議案

資料①

| 番号 | 件名 | 主管課 | ページ |
|----|----------------------------|--------------|-------------|
| 2 | 「県立高校再編整備計画 前期実施計画」の策定について | 高校教育課 | p 2 別冊資料 |
| 3 | 第3次山口県学校安全推進計画について | 学校安全・ 体育課 | p 7 別冊資料 |

報告事項

| 番号 | 件名 | 主管課 | ページ |
|----|--|-------|--------------|
| 1 | 山口県文書館研究員の採用選考試験の結果について | 教育政策課 | p 8 |
| 2 | やまぐち未来維新プラン（最終案）について | 教育政策課 | p 9 別冊資料 |
| 3 | 令和5年度(2023年度)山口県立学校職員（実習助手・寄宿舍指導員）採用候補者選考試験の選考結果について | 教職員課 | p 28 |
| 4 | 令和4年度山口県学力定着状況確認問題の結果について | 義務教育課 | p 30 別冊資料 |
| 5 | 令和5年3月新規高等学校等卒業予定者の就職内定状況等（令和4年10月末現在）について | 高校教育課 | p 47 |

議案第2号

「県立高校再編整備計画 前期実施計画」の策定について

「県立高校再編整備計画 前期実施計画」を別添のとおり策定する。

令和4年(2022年)12月23日

山口県教育委員会

県立高校再編整備計画 前期実施計画

令和4年度～令和8年度
(2022年度～2026年度)

(案)

令和4年(2022年)12月
山口県教育委員会

1 はじめに

県教育委員会では、令和4年（2022年）3月に、中・長期的視点に立って本県高校教育の質の確保・向上を図るため、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備等を主な内容とする「第3期県立高校将来構想」を策定したところです。

本構想を具体的に推進するに当たっては、年次的・計画的に進める必要があることから、特に、学校・学科の再編整備については、全県的な視点に立って、5年単位の実施計画（前期実施計画・後期実施計画）を策定することとしています。

このたび、中学校卒業見込者数の推移や中学生の志願状況、高校卒業後の進路動向、高校生の通学実態などを総合的に勘案するとともに、生徒のニーズや地域バランス等を踏まえ検討した内容を前期実施計画として取りまとめました。

| R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 |
|------------------------------|------|------|------|------|-------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 第3期県立高校将来構想 | | | | | | | | | |
| 県立高校再編整備計画 前期実施計画(R4～8年度) | | | | | | | | | |
| | | | | | 県立高校再編整備計画 後期実施計画(R9～13年度) | | | | |

2 学校・学科の再編整備

(1) 望ましい学校規模

1 学年4～8学級（1学級当たりの生徒数は原則40人）

(2) 再編整備の進め方

【再編整備の基本方針】

- 1 学年3学級以下の学校の再編統合を基本として、他の学校との再編統合により、望ましい学校規模を確保
- 再編統合が困難な場合には募集停止について検討し、その際、学校の近接性や学習内容等を考慮しながら、他の学校に教育機能を継承することを検討
- 全日制課程を置く分校については、地元中学校卒業者の入学状況や、今後の入学見込者数を勘案した上で、募集停止を検討

【再編整備の方向性】

- 教科等横断的な学びや他者と協働した探究活動の充実など、学科間連携による教育活動を推進する学校を配置
- 大学等への進学に重点を置く取組や高度な専門性をもった産業人材を育成する取組の充実などを推進するための拠点的な役割をもつ学校を、分散型都市構造にある本県の特長も考慮してバランスよく配置

3 実施内容（前期）

（1）再編統合・募集停止

| 対象校 | 内 容 | 実施年度 |
|--------------|---|-------------------|
| 宇部西高校 | ○ 宇部西高校の生徒募集を停止し、教育機能等を山口農業高校などに継承 | 令和6年度 (2024年度) |
| 厚狭高校 田部高校 | ○ 家庭科教育の充実を図るため、厚狭高校と田部高校を再編統合して、新高校を設置 (校地：厚狭高校北校舎) | 令和7年度 (2025年度) |

※ 萩高校奈古分校については、今後の地元中学校卒業者の入学状況等を勘案した上で、生徒募集の停止を検討

※ 柳井地域・周南地域については、引き続き再編整備の検討を進め、その内容が計画に掲げられるようになった時点で対象校を追加

（2）特進探究科（仮称）の設置

| 対象校 | 内 容 | 実施年度 |
|----------------------|----------------------------------|-------------------|
| 岩国高校 徳山高校 山口高校 | ○ 進学に重点を置く取組を推進するため、特進探究科（仮称）を設置 | 令和7年度 (2025年度) |

※ 宇部高校、下関西高校、萩高校の「探究科」についても、教育内容を踏まえて名称の変更を検討

（3）中高一貫教育校（併設型）の設置

| 対象校 | 内 容 | 実施年度 |
|---------------|------------------------------------|-------------------|
| 岩国高校 下関西高校 | ○ 進学指導に重点を置いた中高一貫教育を行うため、併設型中学校を設置 | 令和8年度 (2026年度) |

※ 高森みどり中学校については、岩国高校への併設型中学校の設置に合わせて、生徒募集を停止（令和8年度（2026年度））

4 その他

（1）各年度の実施分については、中学生に早期に情報提供する必要があることから、原則として当該年度の募集定員の発表前に具体的な内容を公表します。

（2）再編整備に伴い、へき地や過疎地域等から遠距離通学することとなる生徒に対応するため、公共交通事業者に対し、利便性の向上等が図られるよう働きかけを行うとともに、経済的負担の軽減について検討します。

■ これまでの再編整備の状況

| 年 度 | 対 象 校 | | 再編整備の内容 | 新 高 校 | | |
|--------------------|-------------|---------|---------|------------|---------|-----|
| | 学校名 | 課 程 | | 学校名 | 課 程 | |
| 平成18年度 (2006年度) | 柳井商業高校 | 全日制 | 再編統合 | 柳井商工高校 | 全日制 | |
| | 柳井工業高校 | 全日制 | | | | |
| | 徳山商業高校 | 全日制 | 再編統合 | 徳山商工高校 | 全日制 | |
| | 徳山工業高校 | 全日制 | | | | |
| | 萩商業高校 | 全日制 | 再編統合 | 萩商工高校 | 全日制 | |
| | 萩工業高校 | 全日制 | | | | |
| 平成19年度 (2007年度) | 安下庄高校 | 全日制 | 再編統合 | 周防大島高校 | 安下庄校舎 | 全日制 |
| | 久賀高校 | 全日制 | | | 久賀校舎 | 全日制 |
| | 大嶺高校 | 全日制 | 再編統合 | 青嶺高校 | 全日制 | |
| | 美祢工業高校 | 全日制 | | | | |
| 平成20年度 (2008年度) | 坂上高校 | 全日制 | 分校化 | 岩国高校坂上分校 | 全日制 | |
| | 広瀬高校 | 全日制 | 分校化 | 岩国高校広瀬分校 | 全日制 | |
| | 鹿野高校 | 全日制 | 分校化 | 徳山高校鹿野分校 | 全日制 | |
| | 徳佐高校 | 全日制 | 分校化 | 山口高校徳佐分校 | 全日制 | |
| | 熊毛南高校上関分校 | 全日制 | 募集停止 | | | |
| | 田布施農業高校大島分校 | 全日制 | 募集停止 | | | |
| | 徳佐高校高俣分校 | 全日制 | 募集停止 | | | |
| | 奈古高校須佐分校 | 全日制 | 募集停止 | | | |
| 平成22年度 (2010年度) | 田布施農業高校 | 全日制 | 再編統合 | 田布施農工高校 | 全日制 | |
| | 田布施工業高校 | 全日制 | | | | |
| 平成23年度 (2011年度) | 大津高校 | 全日制 | 再編統合 | 大津緑洋高校 | 大津校舎 | 全日制 |
| | 日置農業高校 | 全日制 | | | 日置校舎 | 全日制 |
| | 水産高校 | 全日制 | | | 水産校舎 | 全日制 |
| 平成24年度 (2012年度) | 防府商業高校 | 全日制・定時制 | 工業科の設置 | 防府商工高校 | 全日制・定時制 | |
| | 徳山北高校 | 全日制 | 分校化 | 徳山高校徳山北分校 | 全日制 | |
| | 佐波高校 | 全日制 | 分校化 | 防府高校佐波分校 | 全日制 | |
| 平成25年度 (2013年度) | 美祢高校 | 全日制 | 再編統合 | 美祢青嶺高校 | 全日制 | |
| | 青嶺高校 | 全日制 | | | | |
| 平成28年度 (2016年度) | 下関中央工業高校 | 全日制 | 再編統合 | 下関工科高校 | 全日制・定時制 | |
| | 下関工業高校 | 全日制・定時制 | | | | |
| | 奈古高校 | 全日制 | 分校化 | 萩高校奈古分校 | 全日制 | |
| 平成30年度 (2018年度) | 響高校 | 全日制 | 再編統合 | 下関北高校 | 全日制 | |
| | 豊北高校 | 全日制 | | | | |
| 平成31年度 (2019年度) | | | 新 設 | 下関双葉高校 | 定時制 | |
| | 西市高校 | 全日制 | 分校化 | 山口農業高校西市分校 | 全日制 | |
| | 下関西高校 | 定時制 | 募集停止 | | | |
| | 下関工科高校 | 定時制 | 募集停止 | | | |
| (市立)下関商業高校 | 定時制 | 募集停止 | | | | |
| 令和2年度 (2020年度) | 光高校 | 全日制・定時制 | 再編統合 | 光高校 | 全日制・定時制 | |
| | 光丘高校 | 全日制 | | | | |
| 令和3年度 (2021年度) | 徳山高校徳山北分校 | 全日制 | 募集停止 | | | |
| | 徳山高校鹿野分校 | 全日制 | 募集停止 | | | |
| 令和4年度 (2022年度) | | | 新 設 | 山口松風館高校 | 定時制・通信制 | |
| | 光高校 | 定時制 | 募集停止 | | | |
| | 防府商工高校 | 定時制 | 募集停止 | | | |
| | 山口高校 | 定時制・通信制 | 募集停止 | | | |
| | 宇部工業高校 | 定時制 | 募集停止 | | | |
| | 小野田高校 | 定時制 | 募集停止 | | | |
| | 厚狭高校 | 定時制 | 募集停止 | | | |

○ 今後の再編整備の予定

| 年 度 | 対 象 校 | | 再編整備の内容 | 新 高 校 | |
|-------------------|----------|-----|---------|-------|-----|
| | 学校名 | 課 程 | | 学校名 | 課 程 |
| 令和5年度 (2023年度) | 岩国高校広瀬分校 | 全日制 | 募集停止 | | |
| | 防府高校佐波分校 | 全日制 | 募集停止 | | |
| | 山口高校徳佐分校 | 全日制 | 募集停止 | | |

令和4年(2022年)12月現在

議案第3号

「第3次山口県学校安全推進計画」の策定について

「第3次山口県学校安全推進計画」を別添のとおり策定する。

令和4年（2022年）12月23日

山口県教育委員会

報告事項 1

山口県文書館研究員の採用選考試験の結果について

1 選考日程

- (1) 募 集 令和4年 7月27日(水)～ 8月31日(水)
- (2) 第1次選考 令和4年 9月 6日(火)～10月 5日(水) ……書類選考
- (3) 第2次選考 令和4年10月23日(日) ……面接試験
- (4) 採用予定日 令和5年 4月 1日

2 応募・合格者数

| 応募者 | 第1次選考合格者 | 最終合格者 |
|-----|----------|-------|
| 29名 | 6名 | 1名 |

3 参考

(1) 職務内容

山口県文書館、山口県立山口博物館、山口県知事部局（主に観光スポーツ文化部文化振興課）等における、歴史に関する調査研究業務その他の行政事務

- 歴史資料（文献、史料）等に関する調査研究、資料収集・整理、展示、教育普及、研究発表、資料の利用に関する助言等
- 文化財（古文書等）の調査、保存・活用
- その他、文化財行政に関すること

(2) 応募資格

次のいずれにも該当する者

- ア 昭和53年（1978年）4月2日以降に生まれた者
- イ 大学又は大学院で、日本史を専攻又は研究した者で、大学院の修士課程修了（令和5年3月31日までに修了見込みの者を含む。）又は、同等の研究経験・実務経験を有する者

やまぐち未来維新プラン

～より高いレベルの安心と成長の実現を目指して～

《最終案の概要》

やまぐち未来維新プランの全体構成

- 第1章 はじめに
 - 策定の趣旨や性格と役割、計画期間について説明しています。
- 第2章 山口県の現状を見る
 - これまでの取組の成果、本県の人口減少の現状、本県を取り巻く環境、山口県の強みと潜在力について説明しています。
- 第3章 県づくりの推進方向
 - 県づくりの基本目標や目指すべき将来像などについて説明しています。
- 第4章 直面するコロナの危機の克服
 - コロナから命と健康を守り抜き、経済と暮らしを再生するための対策について説明しています。
- 第5章 重点的な施策の推進
 - 計画期間で重点的に推進する維新プロジェクトについて説明しています。
- 第6章 持続可能な行財政基盤の確立
 - 効率的な行政運営や財政基盤の強化について説明しています。
- 第7章 施策の総合的な推進
 - 県政の各分野で進める施策を体系的に示しています。
- 第8章 プランの着実な推進
 - プランを着実に推進していくための進行管理の方策などについて説明しています。

第1章 はじめに

■ 策定の趣旨

これまでの県づくりで、多くの成果を得ることができましたが、県政の最重要課題である人口減少の克服は未だ道半ばにあり、コロナ禍で足踏みを余儀なくされた取組もあります。

まずは、**コロナを克服し、山口県の元気を取り戻す**と同時に、人々の意識や価値観の変化、デジタル化や脱炭素化などの社会変革にしっかりと対応し、「**3つの維新**」をさらに進化させ、**新たな未来に向けた県づくりの取組を、力強く前へ進めていかなければなりません。**

市町はもとより関係団体や企業・大学、県民の皆様とともに、県の総力を結集して、**これまで以上に「安心して希望と活力に満ちた山口県」を実現します。**

■ 性格と役割

プランは新たな**県政運営の指針**として、今後、県が進める政策の基本的な方向をまとめた**総合計画**であり、また、本県が目指す**県づくりの方向性**を、**市町、関係団体、企業・大学等、県民の皆様と共有し、共に取り組んでいくための指針**となるものです。

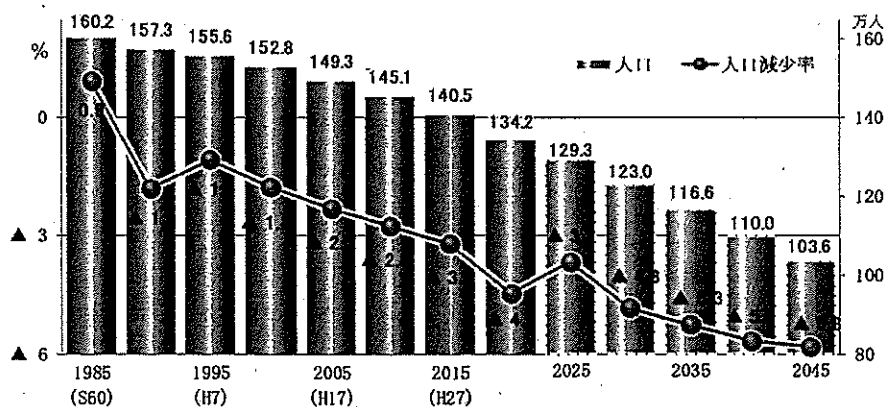
■ 計画期間

2022年度～2026年度（5年間）

第2章 山口県の現状を見る 本県の人口減少の現状

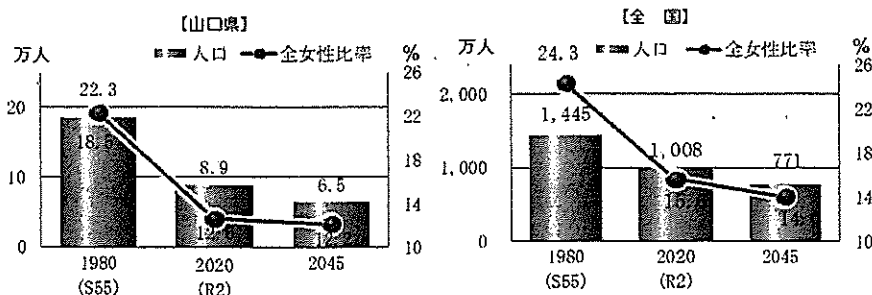
■ 山口県の人口の推移・推計

- ・県人口は、1985年以降減少を続け、2020年には約134万人まで減少
- ・このまま推移すると、2020年から2045年までに約30万人減少する見込み



■ 25～39歳の女性人口

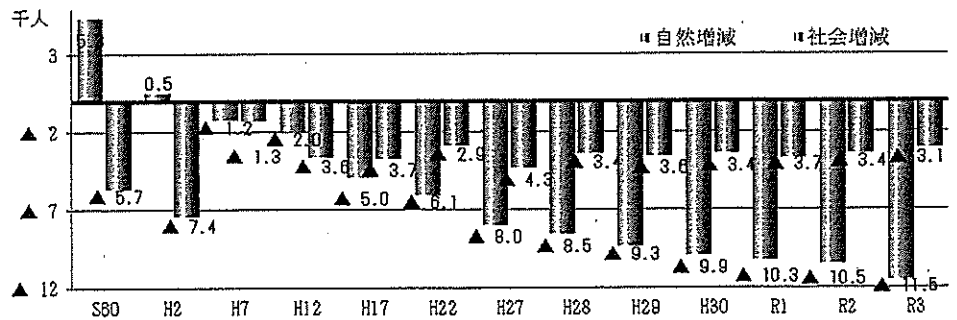
- ・1980年と比べて2020年には約52%減少しており、2045年にはさらに約27%減少する見込みで、全国に比べて女性人口に占める割合が低い
- ・若年層の女性は、移住に向けて、仕事に関する満足度を重視



第2章 山口県の現状を見る 本県の人口減少の現状

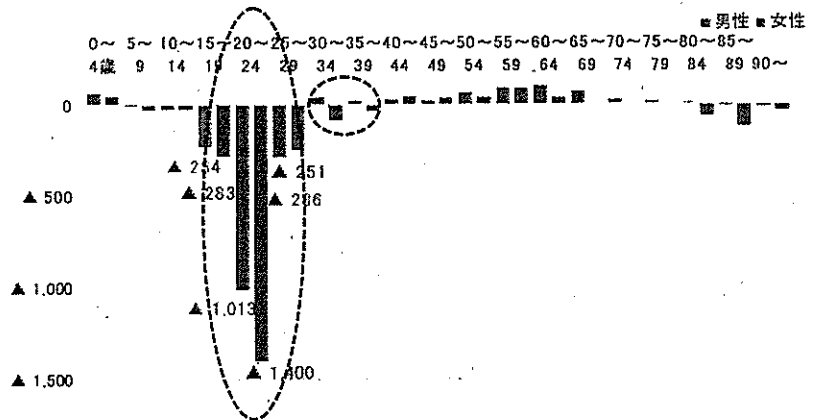
■人口減少（自然減・社会減）

- ・自然減に歯止めがかかっていない
- ・社会減に縮小の傾向がみられる



■年齢別人口の社会増減の状況

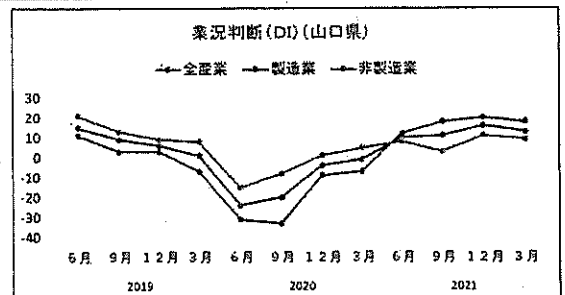
- ・15～29歳の県外流出が顕著
- ・県内大学・短大生の県内就職率は約35%であり、約65%が県外へ流出
- ・コロナ禍を契機として社会減の動きに変化が出てきており、30代では、男性で転入超過が拡大、女性で転出超過が縮小



第2章 山口県の現状を見る 本県を取り巻く環境

■新型コロナウイルス感染症の影響

- ・県民の命と健康を脅かすと同時に、経済活動に大きな影響
- ・コロナの影響下において、人々の意識や価値観、行動に変化
- ・地方暮らしの良さが改めて認識され、地方移住への関心の高まり



■社会経済情勢の変化

- ・資源・部材の安定供給等の課題が顕在化するなど、経済安全保障の重要性の高まり

《デジタル化》

- ・「デジタル田園都市国家構想基本方針」が策定され、地方におけるDXを積極的に推進

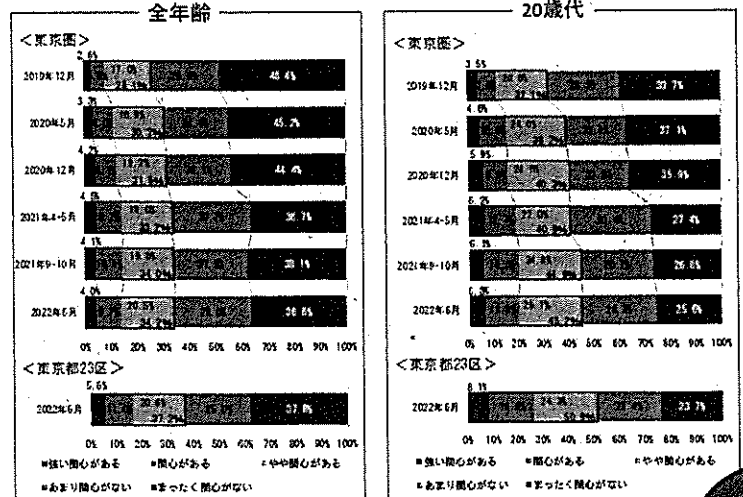
《脱炭素化》

- ・「2050年カーボンニュートラル」が宣言されるなど、脱炭素化の流れが国内外で加速

■生活の基盤

- ・自然災害の頻発化・激甚化
- ・産業や生活を支える社会インフラ基盤の老朽化の進行
- ・未来を切り拓く人材育成の重要性の高まり

地方移住への関心 (東京圏在住者)



第2章 山口県の現状を見る 強みと潜在力（産業）

■ 県内総生産

- ・第2次産業の比率が全国と比べて10%以上高い工業県で製造業が本県経済を牽引

■ 製造品出荷額等

- ・1事業所当たりの製造品出荷額は全国1位であり、高付加価値な部素材・製品を供給

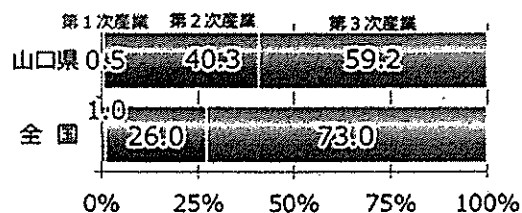
■ 企業誘致件数

- ・優れた立地環境、産業インフラ、産業人材など、企業活動を強化する力を有しており、企業誘致は順調に推移

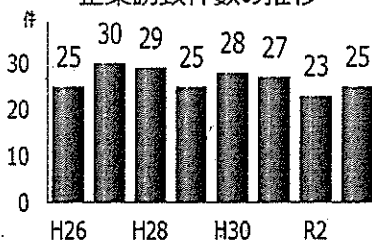
■ 農林漁業就業者

- ・全国トップ水準の新規就業者支援対策等により、中核経営体や新規就業者数を育成・確保

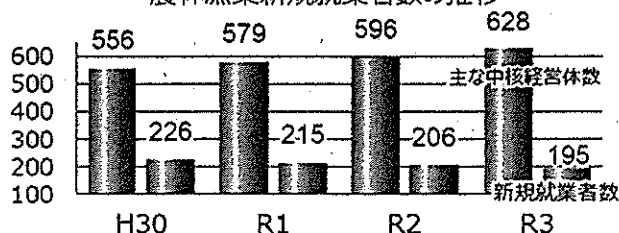
県内総生産の構成比



企業誘致件数の推移



農林漁業新規就業者数の推移

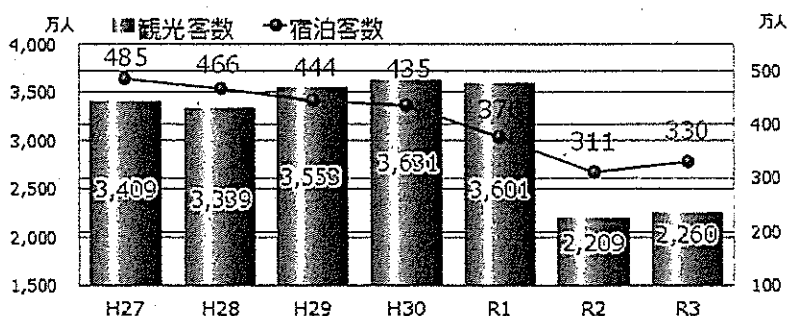


第2章 山口県の現状を見る 強みと潜在力（大交流）

■ 観光客数・宿泊客数

- ・観光客数は平成30年に過去最高を記録
- ・コロナ禍を契機として、自然環境に触れる旅行など、地方への旅行志向が高まっている
- ・本県には自然景観や、歴史・文化があふれる史跡・旧跡、温泉やグルメなど魅力的な観光資源が多数存在

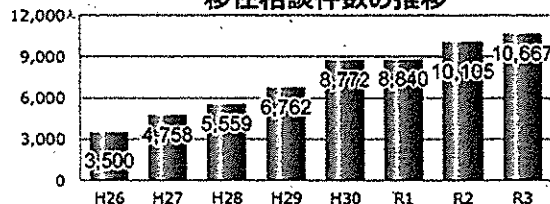
観光客数・宿泊客数の推移



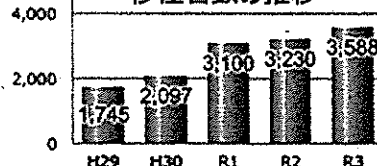
■ 山口県への移住相談件数・移住者数

- ・地方移住への関心の高まりや支援体制の整備等により、移住希望者の相談件数や移住者数が大幅に増加
- ・移住・関係人口の促進に向け、情報発信等を行っている「SMOUT」が実施する人気移住希望地ランキング「SMOUT移住アワード2021」で全国3位

移住相談件数の推移



移住者数の推移



第2章 山口県の現状を見る 強みと潜在力（生活）

■ 出会いの場や結婚への希望

・コロナ禍で、婚姻数や出生数が低下しているが、若い世代の結婚への関心が高まっている傾向がみられる

■ 女性の年齢階級別労働力率

・出産、育児等の理由から30代を中心に働く人が減る「M字カーブ」の解消が進みつつあるが、さらなる取組の推進が必要

■ 人づくり

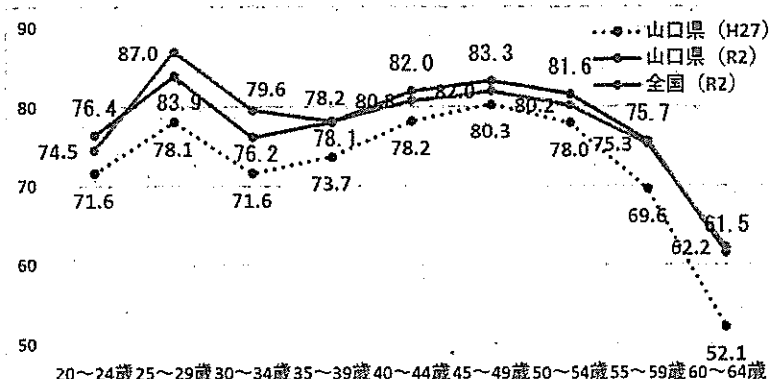
・「新たな時代の人づくり推進方針」を策定し、乳幼児の育ちと学び支援センターの設置や多様な主体が連携・協働して人づくりに取り組む体制整備等を進めている

・コミュニティ・スクール導入率100%や学校におけるICT（情報通信技術）環境の整備を活かした教育の充実・強化を進めている

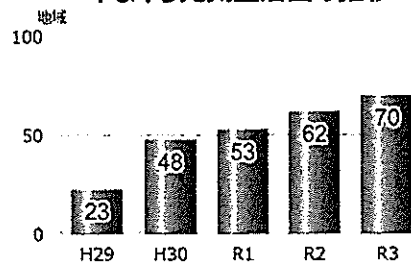
■ やまぐち元気生活圏の推移

・中山間地域において、広域的な範囲で集落機能や日常生活を支え合う「やまぐち元気生活圏」づくりが進んでいる

女性の年齢階級別労働力率



やまぐち元気生活圏の推移



第3章 県づくりの推進方向

基本目標

「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現

人口減少・少子高齢社会にあっても、活力に満ちた産業や、にぎわいに溢れ、安心・安全で持続可能性を備えた地域社会の中で、県民誰もが、山口ならではの豊かさと幸福を感じながら、未来に希望を持って暮らせる「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現を私たちは目指します

基本方針 「3つの維新」のさらなる進化

【3つの維新】

産業維新

大交流維新

生活維新

さらなる進化

【4つの視点】

安心・安全

デジタル（未来技術）

クリーン（脱炭素）

ヒューマン（人づくり・新たな人の流れ）

安心して希望と活力に満ちた山口県

プロジェクトや重点施策を未来志向で再構築

第3章 県づくりの推進方向

4つの視点 「安心・安全」「デジタル」「グリーン」「ヒューマン」

安心・安全

コロナの経験も踏まえた命と健康を守る取組の強化
国際情勢を踏まえた経済安全保障などへの対応
災害への備えなど生活・暮らしの安心・安全の確保 等

デジタル（未来技術）

やまぐちデジタル改革の取組をさらに加速
県政のあらゆる分野でのデジタル実装を推進 等

グリーン（脱炭素）

脱炭素社会の実現に向け、企業や県民の理解と積極
的な参加を得ながら取組を推進
脱炭素化は大きな課題であるが、その取組が成長につ
ながるとの発想に立ち、経済と環境の好循環を創出 等

ヒューマン（人づくり・新たな人の流れ）

人と人がつながる交流等を通じた山口で暮らす価値の実
感と活力が生まれる場の創出
女性や若者の定着・移住の推進など新たな人の流れの創出・拡大
少子化に歯止めをかけるため、結婚から妊娠・出産、子育て
に対する切れ目のない支援などの充実・強化
新たな未来を切り拓く人材の育成 等

産業維新

山口県の強みを最大限に活かし、山口県の活力の源となる産
業力を大きく伸ばします

大交流維新

山口県の潜在力を発揮して、新たな人・モノの流れを創出・拡大し、山口
県を活性化させる大交流を実現します

生活維新

県民誰もが「豊か」と幸せを感じ
ながら、いつまでも安心して暮らし続
けられる山口県の基盤を築きます

第3章 県づくりの推進方向

目指すべき将来像

誰もが、将来にわたって、心にゆとりを持ち、人や地域社会とつながりながら、ずつ
と笑顔で暮らし続けることができる未来をデザインするため、「3つの維新」のさらなる
進化の先に見据える、概ね10年後の目指すべき将来像を示します

本県の強みを活かし、潜在力を引き出して大きく伸ばしながら、
山口ならではの豊かな未来を実現

産業維新

社会変革等に的確に対応し、産
業力が大きく伸びています
多くの魅力ある雇用の場が生ま
れ、若者などの県内への就職・定
着が進んでいます

大交流維新

観光や交流の拡大を通じ、県全
域で活力が高まっています
山口の暮らしの豊かさや魅力が
広く伝わり、人材の還流・移住が
進んでいます

生活維新

結婚の希望が叶い、安心して妊
娠・出産、子育てができる環境が
整い、少子化の流れに歯止めが
かかっています
地域や人と人との絆が深まり、利
便性が高い環境の中で、県民が
豊かさを感じながら暮らしています

第4章 直面するコロナの危機の克服

【これまでの取組】

山口県新型コロナウイルス感染症対策本部の設置や市町や関係団体等との連携体制の構築などコロナへの確かつ迅速に対処する体制の整備を行うとともに、様々な対策を実施

- ◆ 県・市町や医療関係者等が一丸となって、「**県民の命と健康を守る**」ための取組を推進
- ◆ 学校教育のICT（情報通信技術）環境の整備など、コロナ禍で生じた様々な課題の解決
- ◆ 雇用の維持・確保、事業継続への支援、需要喚起等の取組など県民生活の安定や県内経済の下支え等

【今後の方針】

◆ 感染状況や社会経済情勢に応じて、適時適切な対策を講じ、直面するコロナの危機を克服し、山口県の元気を取り戻す

コロナの危機から県民の命と健康を守り抜く

- 相談・検査体制の確保
- 医療提供体制の確保
- ワクチン接種の促進
- 県民生活の安定

コロナで傷んだ経済と暮らしを再生する

- 事業活動の継続・活性化の支援等による社会経済の再生
- デジタル化等の変化への対応

第5章 重点的な施策の推進

3つの維新

72の重点施策

20の維新プロジェクト

115の成果指標

産業維新

- 1 新たな価値を創造する産業DX
- 2 未来へ挑戦するグリーン成長
- 3 時代を勝ち抜く産業力強化
- 4 中堅・中小企業の「底力」発揮
- 5 強い農林水産業育成

大交流維新

- 6 交流拡大による活力創出
- 7 新たな観光県やまぐち創造
- 8 国内外での市場拡大
- 9 新たな人の流れ創出・拡大

生活維新

- 10 結婚、妊娠・出産、子育て応援
- 11 「やまぐち働き方改革」推進
- 12 次代につなげる持続可能な社会づくり推進
- 13 豊かで利便性に優れた暮らしづくり推進
- 14 新たな時代の人づくり推進
- 15 誰もがいきいきと輝く地域社会実現
- 16 安心を支える医療と介護の充実・強化
- 17 生涯を通じた健康づくり推進
- 18 災害に強い県づくり推進
- 19 暮らしの安心・安全確保
- 20 人口減少を克服する地域づくり推進

新たな価値を創造する産業DX

■ 産業におけるデジタル化の加速

- ・未来技術を活用した新たなビジネスモデルや新サービス・新事業創出、生産性向上
- ・デジタル関連企業・サテライトオフィス等の誘致
- ・デジタル人材の育成・確保
- ・県内中小企業のデジタル基盤の整備
- ・やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」によるDXコンサルティングや技術サポートの実施



やまぐちDX推進拠点
Y-BASE

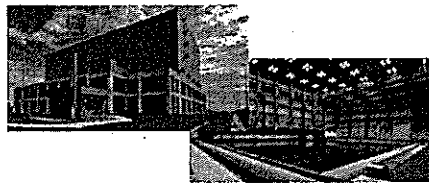
■ 航空機産業・宇宙ビジネスへの挑戦

- ・衛星データを活用した宇宙利用産業の創出・育成
- ・航空機・宇宙機器産業への参入支援



■ 水中次世代モビリティ関連産業の振興による新たなイノベーションの創出

- ・岩国海洋環境試験評価サテライトを活用した水中次世代モビリティ関連技術の開発促進と事業化

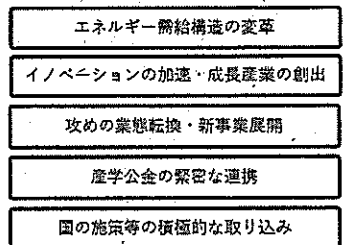


| 《成果指標》 | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|----------------------------|-------------------------|--------------------------|
| ●先導的プロジェクトによる未来技術導入件数 | 5件 | 25件 (2022~2026) |
| ●中小企業のIoT導入率 | 19.3% | 28% |
| ●水中次世代モビリティ関連プロジェクト化件数(累計) | - | 15件 |
| ●航空機・宇宙機器産業での受注獲得金額 | 38,300万円 (2018~2021) | 300,000万円 (2022~2026) |

未来へ挑戦するグリーン成長

■ 2050年カーボンニュートラルへの挑戦

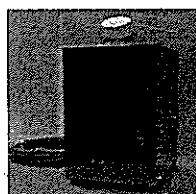
- ・カーボンニュートラル実現に向けたマネジメント体制の強化
- ・総合的な戦略の策定と関連施策の推進
- ・本県コンビナートの産業特性と技術を活かしたCO₂の排出削減や利活用、回収・貯留など、コンビナート企業の脱炭素化の取組促進
- ・将来のカーボンニュートラルポート形成に向けた取組の推進
- ・自動車新時代に対応したイノベーションの創出
- ・脱炭素社会を担う人材の育成



■ 環境・エネルギー、医療、バイオ関連産業のイノベーションの加速化

- ・新エネルギー・新素材等を活用した新たなイノベーションの創出
- ・全国をリードする「水素先進県」の実現
- ・高度な治療技術等を活用した再生医療関連産業の育成・集積の促進
- ・バイオ関連技術を活用した新たなエネルギーの創造、廃棄物の3R等に資する研究開発の推進

2050年カーボンニュートラルを原動力とした本県産業の成長・発展



| 《成果指標》 | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|--------------------------------------|-----------|-------------------|
| ●コンビナート連携によるカーボンニュートラル関連事業のプロジェクト化件数 | - | 6件 (2022~2026) |
| ●環境・エネルギー、水素、医療、バイオ関連分野の事業化件数(累計) | 123件 | 180件 |
| ●燃料電池自動車等の導入台数(累計) | 35台 | 175台 |

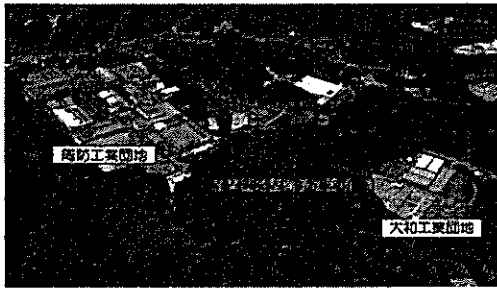
時代を勝ち抜く産業力強化

■ 強みを伸ばす産業基盤の整備

- ・国際バルク戦略港湾施策の推進
- ・山陰道や下関北九州道路をはじめとした幹線道路網の整備
- ・「産業の血液」工業用水の安定供給体制の強化
- ・脱炭素化や国際競争力の強化等に向けたコンビナート企業間の連携促進
- ・技術交流やマッチング支援によるオープンイノベーションの促進
- ・技術流出防止に向けたアウトリーチ活動の推進

■ 戦略的な企業誘致の推進

- ・デジタル化・グリーン化に関連する分野への誘致活動の展開
- ・子育て支援などとも連携した企業誘致の推進
- ・医療関連産業のさらなる集積に向けた誘致活動の重点化
- ・企業ニーズに的確に対応できる産業団地の整備



| 《成果指標》 | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|------------------------|-----------|---------------------|
| ●石炭・バイオマス共同輸送の実施回数 | 8回 | 65回 (2022~2026) |
| ●国道・県道の整備完了延長 | - | 50km (2022~2026) |
| ●緩和する主要渋滞箇所数 | 13箇所 | 18箇所 |
| ●県内企業等に対する技術流出防止意識の浸透率 | - | 100% |
| ●企業誘致件数 | 25件 | 125件 (2022~2026) |

中堅・中小企業の「底力」発揮

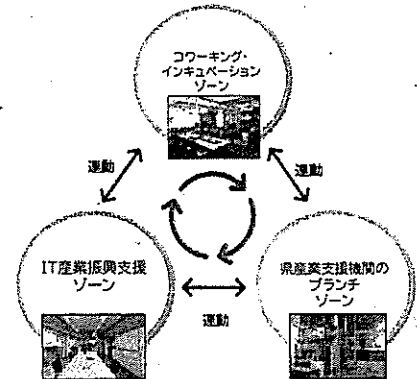
■ 経済成長をけん引する地域中核企業の創出・成長支援

- ・地域金融機関、産業支援機関、大学が連携した地域中核企業の創出・成長支援
- ・急成長が期待されるスタートアップ企業（新興企業）の創出を目指した支援体制の構築

■ 中堅・中小企業等への支援

- ・産業支援機関による県内中小企業の持続的成長に向けた支援
- ・中小企業の事業再構築に向けた支援強化
- ・東部地域産業振興センター（仮称）の整備
- ・中小企業の円滑な事業承継に向けた支援強化
- ・中小企業のグリーン化の促進
- ・多様な創業の促進に向けた支援の拡充
- ・建設DXの推進や建設産業の活性化支援

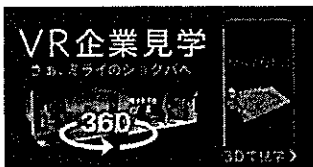
東部地域産業振興センター（仮称）



■ 成長を支える産業人材の確保・育成

- ・若者、女性やプロフェッショナル人材のマッチングの促進
- ・職業能力の再開発・再教育支援
- ・外国人材の雇用、技能継承の促進

| 《成果指標》 | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|---------------------------|---------------------|-----------------------|
| ●地域経済牽引事業計画承認件数 | 12件 | 75件 (2022~2026) |
| ●経営革新計画目標達成件数(累計) | 371件 | 530件 |
| ●関係支援機関の支援による創業数 | 862件 (2018~2021) | 1,200件 (2022~2026) |
| ●建設産業の技術者・技能者の若年者比率 | 11.6%(2020) | 14%以上 |
| ●就職決定者数 (山口しごとセンター登録者) | 3,716人 | 4,400人 |



強い農林水産業育成

■「担い手支援日本一」のさらなる強化

- ・地域を牽引する中核経営体の育成と経営基盤の強化
- ・「農林業の知と技の拠点」等を核とした農林漁業新規就業者の確保・定着
- ・「やまぐち農林漁業ステキ女子」等の育成



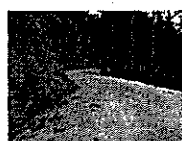
■県産農林水産物の需要拡大や供給体制の強化

- ・地産・地消の拡大
- ・「農林業の知と技の拠点」等を活かした「山口型スマート技術」の開発や6次産業化・農商工連携の取組強化
- ・需要のある農畜産物の結びつき強化・生産拡大
- ・種苗の安定確保や知的財産保護等の取組を進めるための独自条例の制定及び関連施策の推進
- ・スマート林業等による木材供給力の強化
- ・やまぐちほろ酔い酒粕養殖魚の魚種拡大や鯨肉消費の拡大
- ・脱炭素化を通じた持続可能な農林水産業の推進



■生産や地域を支える基盤整備

- ・ほ場・林内路網・漁港等の生産基盤の整備



| 《成果指標》 | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|--------------------------|------------------------|------------------------|
| ●中核経営体数 | 630経営体 | 708経営体 |
| ●農林漁業新規就業者数 | 195人 | 1,100人 (2022~2026) |
| ●戦略作物の作付面積 | 6,366ha(2020) | 7,300ha |
| ●再造林率 | 28.5% (2016~2020平均) | 50%以上 (2022~2026平均) |
| ●農林漁業でのデジタル技術を活用した社会実装件数 | 6件 | 30件 (2022~2026) |

交流拡大による活力創出

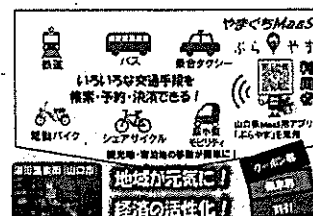
■山口きらら博記念公園を拠点とした県民の活力の創出・発信

- ・山口きらら博記念公園の持つポテンシャルを活かし、すべての県民を主役とする様々な分野のイベントを年間を通じて開催し、県民の交流を拡大
- ・全国との交流を拡大する大規模イベントを山口きらら博記念公園に誘致
- ・山口きらら博記念公園を拠点として創出・発信される県民の活力を、県内に広く波及させる取組を推進
- ・幅広い世代の県民が集い、交流する拠点施設としての整備推進



■交通ネットワークの機能強化や広域的な交通インフラの整備

- ・国内便の利用回復や国際便の運航再開・定着に向けた取組など県内2空港の交流拠点化の推進
- ・新たなモビリティサービスの導入促進など二次交通の充実
- ・移動時間の短縮、周遊ルートの形成に資する道路網等の整備



■国際交流の推進

- ・友好協定等に基づく海外自治体との交流や多文化共生による地域づくりの推進



| 《成果指標》 | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|-------------------------------|-----------|-----------|
| ●山口きらら博記念公園年間利用者数 | 160千人 | 800千人 |
| ●山口宇部空港の国内定期便の年間利用者数 | 36.0万人 | 100万人 |
| ●山口宇部空港の国際便(チャーター便を含む)の年間利用者数 | 0万人 | 2万人 |
| ●岩国錦帯橋空港の国内定期便の年間利用者数 | 13.2万人 | 52万人 |

新たな観光県やまぐち創造

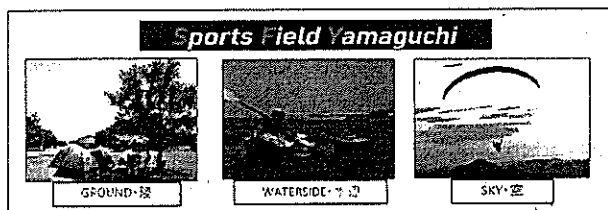
■ 戦略的なプロモーションや誘客対策の展開

- ・「絶景」「歴史」「グルメ」「温泉」などを活用したプロモーションの実施や大型観光キャンペーンの誘致
- ・ビッグデータ等を活用した戦略的なプロモーションの展開
- ・山口県ならではの特別な体験などのコンテンツ造成等を通じた誘客拡大や5つの重点市場（韓国・台湾・香港・中国・ASEAN）での誘客対策の強化、クルーズ船の誘致推進など反転攻勢に向けたインバウンドの拡大



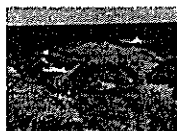
■ やまぐちの多彩な魅力を活かした交流人口の拡大

- ・キャンプ場とアウトドアアクティビティを結び付けた「スポーツフィールドやまぐち」の推進
- ・トップスポーツクラブ等と連携したスポーツ活動の活性化
- ・美術館等を核とした文化施策による交流の促進
- ・オンラインとリアルを併用したMICEの開拓



■ 新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり

- ・やまぐちの特色を活かしたツーリズムの創出
- ・やまぐちDMOによる観光基盤の強化



《成果指標》

現状値(2021)

目標値(2026)

| | | |
|----------------|---------|-----------|
| ●観光客数(年間) | 2,260万人 | 3,700万人以上 |
| ●延べ宿泊者数(年間) | 330万人 | 550万人以上 |
| ●観光消費額(年間) | 1,098億円 | 1,600億円 |
| ●キャンプ場利用者数(年間) | 36万人 | 41万人 |
| ●外国人延べ宿泊者数(年間) | 2.0万人 | 20万人 |

国内外での市場拡大

■ 大都市圏へのやまぐちの売り込み強化

- ・企業間取引のオンライン化に対応するなどデジタルを活用した県産品の売り込みの強化
- ・ECサイトも活用した首都圏アンテナショップでの売り込みの強化
- ・県産農林水産物等の大都市圏等への戦略的な販路開拓・拡大
- ・デジタルマーケティングの視点を取り入れた効果的な情報発信



■ 成長する海外市場への中小企業・農林水産物等の展開

- ・山口県海外ビジネスサポートデスクによる販路開拓や国境を越えての電子商取引など、中小企業の海外展開の促進
- ・産業インフラの輸出促進
- ・マーケットインに基づく県産農林水産物等の輸出競争力強化による海外販路拡大



《成果指標》

現状値(2021)

目標値(2026)

| | | |
|---------------------------|--------------------|---------------------|
| ●ぶちうま産直市場の販売額 | 3,614千円 | 20,000千円 |
| ●県公式SNSのフォロワー数 | 13,357人 | 50,000人 |
| ●中小企業の海外展開成約件数 | 56件 (2018~2021) | 100件 (2022~2026) |
| ●県版エクスポーターによる県産農林水産物等の輸出額 | 270,000千円 | 700,000千円 |

新たな人の流れ創出・拡大

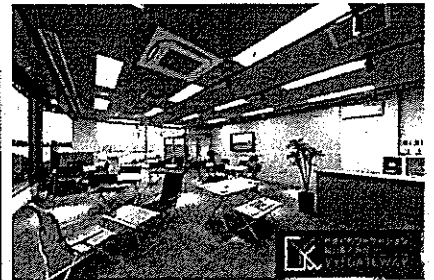
■「住んでみいね！ぶちええ山口」YY！ターンの推進

- ・「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議を中心とした移住の検討段階から受入・定着までのきめ細かな対応
- ・SNS等を活用した「やまぐち暮らし」の魅力の発信
- ・女性や子育て世代の移住促進に向けた施策の充実・強化
- ・山口つながる案内所を通じた「関係人口」の創出・拡大
- ・地方創生テレワークとワーケーションの一体的な推進による新たな人の流れの創出



■ 県外人材の県内への就職の促進

- ・新卒学生等を対象とした県内就職対策の強化
- ・キャリアアップ・キャリアチェンジの支援
- ・プロフェッショナル人材等の確保



■ 地方への分散移転の動きに呼応した企業誘致の推進

- ・デジタル関連企業・サテライトオフィス等の誘致
- ・移住創業の推進

《成果指標》

現状値(2021) 目標値(2026)

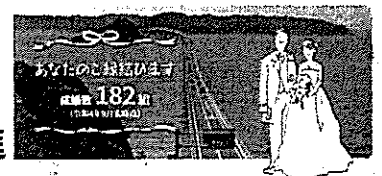
| | | |
|-----------------------------------|---------------------|-----------------------|
| ●転入者アンケート等による「YY！ターン」実績数（移住者数） | 3,588人 | 2.5万人 (2022～2026) |
| ●テレワーク移住者数 | 18人 | 150人 (2022～2026) |
| ●県外人材（大学生含む）の県内就職者数（山口しごとセンター登録者） | 941人 (2018～2021) | 1,200人 (2022～2026) |
| ●県外在住者からのふるさと納税寄附件数 | 3,352件 | 5,000件 |

結婚、妊娠・出産、子育て応援

■ 社会全体で結婚の希望を叶える取組の充実

- ・ウィズコロナにあっても、結婚を後押しする取組を充実するとともに、「やまぐち結婚応援センター」のマッチング体制を強化するなど出会いや結婚応援の充実

やまぐち結婚応援センター



■ 妊娠・出産への支援の充実、「みんなで子育て応援山口県」の推進

- ・不妊治療への支援の充実や適切な周産期・小児医療の提供体制の確保・充実
- ・SNS等も活用した妊娠・出産や小児の病気・けがに関する相談支援体制の整備・強化
- ・「やまぐち版ネウボラ」の推進や「市町こども家庭センター」の設置促進など伴走型の子育て支援の充実
- ・「やまぐち子育て連盟」を中心とする企業や関係団体等と連携した「やまぐち子育て県民運動」の推進
- ・多様なニーズに対応する子育て支援事業の推進



■ 困難を有する子どもへの支援の充実

- ・児童虐待防止対策の推進
- ・子どもの居場所づくりの取組の推進
- ・ヤングケアラーの早期発見と適切な支援の実施



《成果指標》

現状値(2021) 目標(2026)

| | | |
|-----------------------------|--------|---------|
| ●やまぐち結婚応援センターの引き合わせ実施件数(累計) | 7,961件 | 14,000件 |
| ●こども家庭センター設置市町数 | — | 19市町 |
| ●保育所等利用待機児童数 | 15人 | 0人 |
| ●里親委託率 | 22.4% | 38.0% |
| ●「子ども食堂」箇所数 | 117箇所 | 200箇所 |

「やまぐち働き方改革」推進

■ 働きやすい職場環境づくり

- ・ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現と生産性向上に向けた取組の促進
- ・「やまぐち働き方改革支援センター」等による企業サポート体制の強化
- ・テレワークの導入支援やデジタル化の推進など新たな働き方の推進



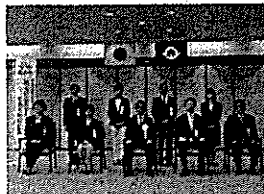
■ 女性の「働きたい」を応援する取組の強化

- ・場所的・時間的制約に左右されづらく、柔軟な働き方が実現しやすいデジタル分野の資質向上に対する支援等の実施
- ・女性の就業継続と職域拡大に向けた女性が働きやすい職場環境の整備への支援
- ・女性デジタル人材や女性起業家の育成への支援
- ・家事・育児の負担軽減など仕事と家庭の両立に向けた企業の取組への支援



■ 高齢者、障害者等が希望に応じて働き続けられる環境づくりの推進

- ・希望に応じて70歳まで働ける環境づくりの推進
- ・障害者等の雇用促進に向けた環境づくりの推進



《成果指標》

| | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|---------------------|-------------|-----------|
| ●テレワーク導入企業の割合 | 14.6%(2020) | 30.0% |
| ●男性の育児休業取得率 | 10.9%(2019) | 30.0% |
| ●25歳から44歳までの働く女性の割合 | 77.4%(2020) | 80.0% |
| ●65歳から69歳までの働く男女の割合 | 48.6%(2020) | 58.0% |
| ●民間企業における障害者実雇用率 | 2.60% | 2.75% |

次代につなげる持続可能な社会づくり推進

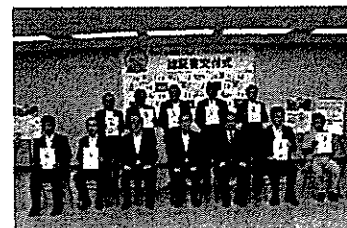
■ 脱炭素社会の実現に向けた地域づくりの推進

- ・国の削減目標と整合し、幅広い主体の意見を踏まえた温室効果ガス排出量の削減目標の設定や、企業や県民の理解と積極的な参加を得られる取組の推進
- ・ぶちエコサポーターなど次世代を担う人材の育成やSNS等を活用した効果的な情報発信
- ・ZEHの導入・普及への支援や山口県産省・創・蓄エネ関連設備の住宅等への導入促進など暮らしに密着した地域脱炭素化の推進
- ・分散型エネルギーの活用やゼロカーボン・ドライブの普及、森林資源のエネルギー利用促進、水力発電によるクリーンエネルギーの安定的・持続的な供給などエネルギーの地産地消の推進



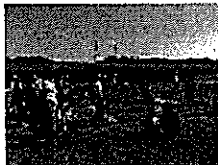
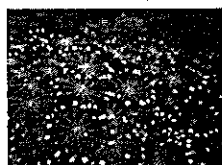
■ 人と自然が共生する環境にやさしい地域づくりの推進

- ・エシカル消費など持続可能な社会を目指した消費・生活の推進
- ・3R県民運動の展開や海洋ごみ対策など循環型社会づくりの推進
- ・さまざまな生物との共生の実現
- ・自然の景観や多面的機能の保全・活用の推進



《成果指標》

| | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|--------------------|-----------|-----------|
| ●再生可能エネルギーの発電出力 | 178万kW | 246万kW |
| ●山口県認定リサイクル製品数(累計) | 506件 | 582件 |
| ●犬猫の引取り数 | 863頭 | 減少させる |



豊かで利便性に優れた暮らしづくり推進

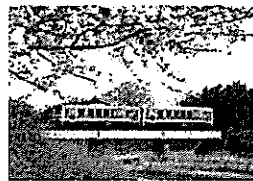
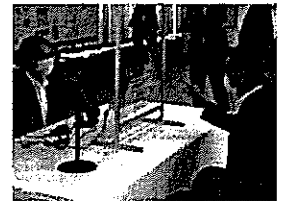
■豊かさと幸せを実感できるデジタル社会の実現

- ・やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」でのDXコンサルティング・技術サポートや「デジテック for YAMA GUCHI」における共創活動を通じた地域課題の解決と新たな価値の創造
- ・手続のワンストップ化、支払のキャッシュレス化、マイナンバーとの情報連携等による利便性が高く安心・安全な行政サービスの提供
- ・県内全域での光ファイバ網や5G利用環境など情報通信インフラ整備の加速
- ・デジタル技術を活用できるリーダー人材の育成・確保



■快適で住みやすい生活環境づくりの推進

- ・「みんなの公園」の新たな利活用による活力の創出
- ・地域づくり・まちづくり等での活用や新たなニーズを踏まえた対応など空き家対策の推進
- ・地方ローカル線の維持・活性化に向けた沿線自治体・国・事業者等との連携など生活交通の維持・活性化
- ・安心・安全な自転車の利活用の推進
- ・安全で暮らしやすい道路交通環境の整備



| 《成果指標》 | 現状値 (2021) | 目標値(2026) |
|--------------------------|---------------|---------------------|
| ●Y-BASEにおける課題解決件数 | 6件 | 500件 (2022~2026) |
| ●光ファイバの世帯カバー率 | 96.2%(2020) | 100% |
| ●5G人口カバー率 | 87.7% | 90%超 |
| ●デジタル技術を活用できるリーダー人材の育成人数 | 77人 | 570人 (2022~2026) |
| ●通学路合同点検に基づく交通安全対策完了率 | 50% | 100% |

新たな時代の人づくり推進

■生涯にわたる人づくりの基礎を培う取組

- ・山口県立大学に子ども家庭ソーシャルワークセンター(仮称)を設置し、保育者の専門性向上に向けた機能を構築
- ・専門分野に係る幼児教育アドバイザーのさらなる配置など、山口県乳幼児の育ちと学び支援センターの機能強化
- ・幼児教育・保育の場における誰もが等しく学び、遊べる環境づくりの推進

■新たな価値を創造する力を育む取組の推進

- ・複数の大学等の連携によるデータサイエンス教育の促進・強化

■誰にも等しくチャレンジの機会を創る取組の推進

- ・ふるさと納税等を活用した奨学金制度の充実

■チャレンジのための環境を整える取組の推進

- ・「山口県の地域連携教育」のさらなる推進
- ・やまぐちスマートスクール構想のさらなる推進
- ・中高一貫教育校の設置など特色ある学校づくりの推進
- ・医学部進学希望者等に向けた課外授業の充実やデジタル人材の育成に資する学科の設置の検討
- ・時代や社会の変化に対応した山口県立大学の機能強化
- ・高大連携による探究活動、国際交流等の教育の充実



| 《成果指標》 | 現状値 (2021) | 目標値 (2026) |
|---|---------------------|---------------------|
| ●地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合(公立小・中学校) | 小50.6% 中47.9% | 70.0% |
| ●学習者用端末を活用した学習活動に、情報活用能力の向上の効果があると感じている生徒の割合 | 86.2% | 100%に 近づける |
| ●山口県立大学の新規卒業者の県内就職割合 | 42.7% | 50%超 |
| ●大学等が実施するPBL取組件数 | 149件 (2019~2021) | 325件 (2022~2026) |

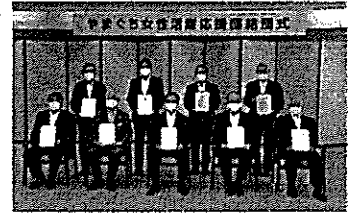
誰もがいきいきと輝く地域社会実現

■ 県民活動の活発化による地域の絆づくりの推進

- ・「あいかさねっと」の活用や大学等と連携による県民活動への理解と参加の促進
- ・県民活動団体と多様な主体との協働の推進

■ 女性や高齢者・障害者等誰もが活躍する地域社会の実現

- ・「やまぐち女性活躍応援団」を中心とした産学公連携による女性の活躍促進
- ・困難な問題を抱える女性への支援の充実
- ・高齢者の多様で主体的な社会参画の促進
- ・障害者の社会的・経済的自立の支援
- ・男女共同参画・ジェンダー平等の実現



■ 豊かな心身を育む文化・スポーツの振興

- ・文化芸術やスポーツの振興
- ・県東部地域県立武道館（仮称）など新たな県民スポーツの拠点整備



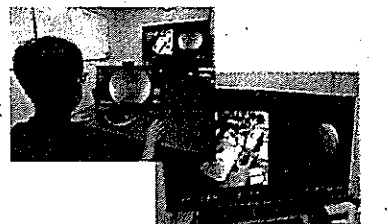
《成果指標》

| | 現状値 (2021) | 目標値 (2026) |
|--|---------------|-----------------------|
| ●「あいかさねっと」等を通じたボランティア活動マッチング数 (2018～2021) | 1,292人 | 1,500人 (2022～2026) |
| ●やまぐち女性の活躍推進事業者数(累計) | 205事業者 | 330事業者 |
| ●若年あいサポーターの養成数(累計) | 12,329人 | 30,000人 |
| ●文化人材バンク登録者の発表機会の創出件数 | 6件 | 30件 |
| ●県立スポーツ施設の年間利用者数 | 818千人 | 1,700千人 |

安心を支える医療と介護の充実・強化

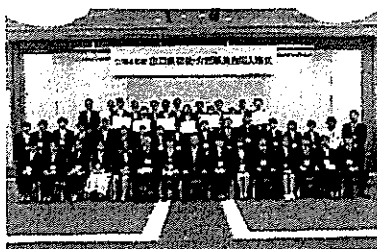
■ 医療提供体制の充実・強化

- ・高度専門医療やデジタル技術を活用した遠隔医療の拠点など、将来にわたり本県医療の中核的役割を担う県立総合医療センターの機能強化
- ・環境保健センターの建替えによる検査機能の強化や感染管理認定看護師の養成など新興・再興感染症の拡大等に備えた体制の強化
- ・地域医療を支える医師・歯科医師・薬剤師・看護職員等の養成・確保
- ・デジタル技術を活用した遠隔診療サポートなど効率的で質の高い医療提供体制の確保
- ・認定薬局の普及に向けた取組など地域における安定的な医薬品の供給体制の確保



■ 介護提供体制の充実

- ・地域包括ケアシステムの深化・推進 ・介護人材の確保
- ・情報通信技術や介護ロボットの活用など
介護現場の業務効率化



《成果指標》

| | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|-----------------------------------|---------------------|---------------------|
| ●県内の専門研修プログラム新規登録者数 (5年間の合計人数) | 266人 (2017～2021) | 300人 (2022～2026) |
| ●訪問診療を行う診療所・病院数 | 300箇所 | 327箇所 |
| ●認定薬局(知事が認定した特定の機能を有する薬局)の数 | 19箇所 | 70箇所 |
| ●住民が主体的に介護予防に資する活動を行う「通いの場」への参加率 | 6.0%(2020) | 8.0%以上 |
| ●県福祉人材センターの有効求職登録者数 (年間の月平均) | 320人 | 360人 |

生涯を通じた健康づくり推進

■ 県民の主体的な健康づくりの推進

- ・「やまぐち健幸アプリ」を活用した健康状態の「見える化」や、健康行動の実践につなげる「日常化」の推進
- ・山口大学や山口県立大学、民間企業等と連携して健康関連データを分析し、県民の健康づくり施策へ活用する取組の推進
- ・健康づくりに向けた健診(検診)の推進

■ 県民の健康づくりを支援する環境づくり

- ・健康経営企業による従業員等の健康づくりの取組の拡大
- ・「やまぐち健康応援団」による減塩や野菜摂取量の対策の推進
- ・「やまぐち健康応援学生サポーター」の養成
- ・山口県健康エキスパート薬剤師の育成など薬学的な健康サポートの推進
- ・SNSを活用した相談体制の構築やゲートキーパーの養成など全ての県民が「こころの健康」に関する相談をしやすい体制の充実

やまぐち健幸アプリ



| 《成果指標》 | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|-------------------------------------|--------------------------------|-----------------|
| ●健康寿命 (日常生活に制限のない期間の平均) | 男性73.31年 女性75.33年 (2019) | 延伸させる |
| ●特定健康診査実施率 | 49.6%(2019) | 70% |
| ●市町、職域等を含むがん検診受診率 (胃・肺・大腸・子宮頸・乳) | 男性 44.7% 女性 28.8% (2019) | 全ての部位で 50%以上 |
| ●山口県健康エキスパート薬剤師数 | 221人 | 600人 |

災害に強い県づくり推進

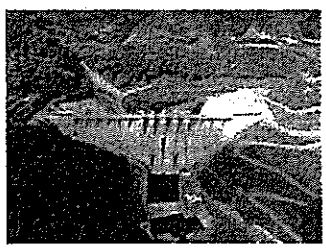
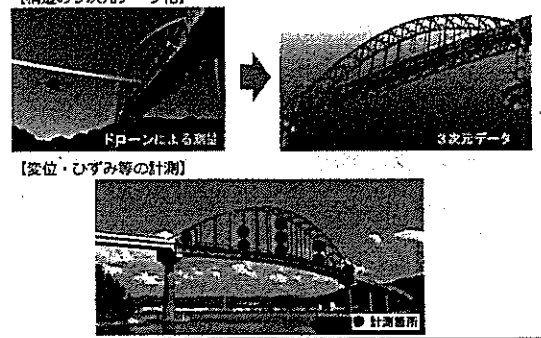
■ 防災・危機管理対策の強化

- ・若い世代の防災活動への参画推進や避難行動要支援者の避難対策の促進などによる地域防災力の充実強化
- ・国、市町、防災関係機関、民間事業者等との連携強化やデジタル技術を活用した災害・緊急事態発生時の情報収集力の強化など大規模災害への対応力の強化
- ・道路の防災対策や流域治水の推進など大規模な自然災害対策の強化
- ・生活・社会基盤の耐震化の推進

■ 日本一の安心インフラやまぐちの実現

- ・「個別施設計画」に基づく社会インフラの老朽化対策の推進
- ・デジタル技術を活用した点検・診断・変状監視等のシステムの構築などインフラメンテナンスの高度化・効率化の推進

構造の3次元データ化や変位・ひずみ等の計測により、橋の細密な状態を把握(構造の3次元データ化)



| 《成果指標》 | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|------------------------------|-------------|-----------|
| ●指定避難所における「避難所運営の手引き」作成数(累計) | 131箇所 | 400箇所以上 |
| ●防災重点農業用ため池の整備箇所数(累計) | 1,693箇所 | 1,868箇所 |
| ●高潮浸水想定区域の指定カバー率 | 0% | 100% |
| ●橋梁の耐震補強実施数(累計) | 127橋 | 160橋 |
| ●住宅の耐震化率 | 81.2%(2018) | 90%以上 |

暮らしの安心・安全確保

■ 食や消費生活をはじめとした地域に密着した安心・安全の確保

- ・安心して飲食店を利用できる環境づくりなど食や消費生活における安心・安全の確保
- ・事件・事故への対応力の強化や警察が保有するビッグデータを活用した防犯・交通安全活動など、地域に密着した安心・安全活動の推進

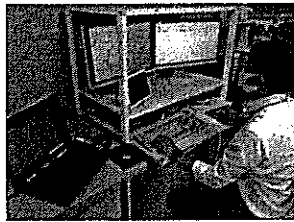


■ 犯罪や暴力、交通事故から県民を守る対策の推進

- ・犯罪被害防止対策や民間支援団体等と連携した被害者に対する支援の強化
- ・子ども・高齢者の交通事故防止や交通事故のない安全で安心なまちづくりに向けた取組の推進

■ 社会の変化に対応した捜査力の強化などによる安心・安全の確保

- ・警察の対処能力や県民の防犯機運高揚・対処能力の強化に向けた取組などサイバー空間における安心・安全の確保
- ・捜査のデジタル化・高度化・科学化の推進

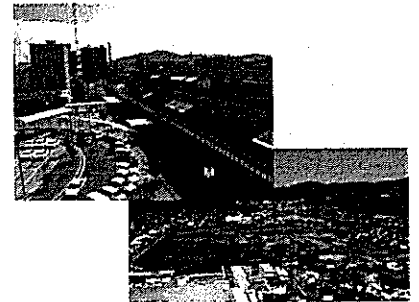


| 《成果指標》 | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|---------------------------|-----------|-----------|
| ●消費者安全確保地域協議会の設置市町数 | 11市 | 全19市町 |
| ●うそ電話詐欺の被害件数(年間) | 108件 | 60件 |
| ●交通事故重傷者数 | 401人 | 減少させる |
| ●サイバー空間の違法有害情報に対する無害化措置件数 | 402件 | 500件 |

人口減少を克服する地域づくり推進

■ 快適でにぎわいのあるまちづくりの推進

- ・持続可能なまちづくりに積極的に取り組む市町への支援や民間活力による「まち」の魅力向上・創出に資する3D都市モデルを活用したオープンデータ化などの取組による未来のまちづくりの推進
- ・農業試験場跡地を活用した新しい「未来のまち」モデルの構築
- ・市町間の広域連携によるまちづくりの取組に対する連携・支援



■ 「やまぐち元気生活圏」の形成の加速化

- ・デジタル技術や特定地域づくり事業協同組合制度など、新しい技術や手法を活用した地域による支え合いの仕組みづくりの推進
- ・生活支援サービスの取組の促進など、多様な主体との協働による支え合いの仕組みづくりの推進
- ・地域経営力の向上による好循環を生み出す地域づくりの推進



■ 中山間地域でのビジネスづくりの推進

- ・都市農山漁村交流による地域活性化の推進

| 《成果指標》 | 現状値(2021) | 目標値(2026) |
|---------------------------|-----------|---------------------|
| ●立地適正化計画に防災の観点を取り入れた市町の数 | 1市 | 11市町 |
| ●やまぐち元気生活圏づくりに取り組む地域数(累計) | 70地域 | 100地域 |
| ●地域経営を担う法人組織の設立件数(累計) | 2件 | 6件 |
| ●農山漁村交流滞在人口 | 11.6万人 | 70万人 (2022~2026) |

第5章 維新プロジェクトと4つの視点・SDGsの関連

| 20の維新プロジェクト | 4つの視点 | | | | SDGs 17のゴール | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|-------|---|---|---|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| | 安 | D | G | 人 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | |
| 産業維新 ①新たな価値を創造する産業DXプロジェクト | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | |
| ②未来へ挑戦するグリーン成長プロジェクト | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ○ |
| ③時代を勝ち抜く産業力強化プロジェクト | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ |
| ④中堅・中小企業の「底力」発揮プロジェクト | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ |
| ⑤強い農林水産業育成プロジェクト | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | | | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | | |
| 大交流維新 ⑥交流拡大による活力創出プロジェクト | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | |
| ⑦新たな観光県やまぐち創造プロジェクト | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| ⑧国内外での市場拡大プロジェクト | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ |
| ⑨新たな人の流れ創出・拡大プロジェクト | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | | | | ○ |
| 生活維新 ⑩結婚・妊娠・出産・子育て応援プロジェクト | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ |
| ⑪「やまぐち働き方改革」推進プロジェクト | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | | | | |
| ⑫次代につなげる持続可能な社会づくり推進プロジェクト | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ⑬豊かで利便性に優れた暮らしづくり推進プロジェクト | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| ⑭新たな時代への入り口づくり推進プロジェクト | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| ⑮誰もがいきいきと輝く地域社会実現プロジェクト | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ |
| ⑯安心を支える医療と介護の充実・強化プロジェクト | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑰生涯を通じた健康づくり推進プロジェクト | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑱災害に強い県づくり推進プロジェクト | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| ⑲暮らしの安心・安全確保プロジェクト | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| ⑳人口減少を克服する地域づくり推進プロジェクト | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ |

第6章 持続可能な行財政基盤の確立

将来に希望をもって暮らすことのできる山口県を創っていくためには、持続可能な行財政基盤の確立が不可欠なことから、効率的な行政運営や財政基盤の強化に取り組む。

■ 簡素で効率的な組織体制の構築

- ・社会経済情勢の変化等に対応した簡素で効率的な組織体制の構築
- ・2023（令和5）年度からの定年引上げも踏まえた人員配置や中長期的な視点に立った定員管理の実施

■ 持続可能な財政基盤の確立

- ・限られた財源を最大限に有効活用するため、選択と集中の観点から、事業のスクラップ・アンド・ビルド*を徹底
- ・将来世代に過大な負担を残すことのないよう、プライマリーバランス（基礎的財政収支）の黒字に着目した財政運営を実施

■ 行財政構造改革の方向性

- ・一時凍結している行財政構造改革については、コロナの感染状況やその対策に係る集中投資の終了時期等を見極めた上で、その時点における本県の歳入・歳出の状況等を踏まえ、改めて検討

*スクラップ・アンド・ビルド：限られた財源の中で、新たな行政課題や社会経済情勢の変化に的確に対応していくために、現在行っている事務事業や補助金等について見直しを行い、時代の変遷に応じて役割を終えていると考えられるものはスクラップ（廃止・縮減）し、それによって生み出された財源をより重要な新しい事業に振り向ける手法のこと。

第7章 施策の総合的な推進

基本目標である「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現を目指し、県政の各分野において、次代につながる確かな県づくりに向け、政策の柱である「3つの維新」の下に、あらゆる施策を体系化し、総合的に推進する。

■ 産業維新

- 産業におけるデジタル化の推進《暮らしの満足度の向上》
- 成長産業の育成・集積
- 産業基盤の整備
- 中堅・中小企業の成長支援
- 産業人材の育成・確保
- 強い農林水産業の育成

■ 生活維新

- 結婚、妊娠・出産、子育て支援の推進
- 働き方改革の推進
- 次代につなげる持続可能な社会づくり
- 暮らしやすいまちづくり

《人を育み、誰もが活躍できる社会の構築》

- 新たな時代の人づくりの推進
- 県民が活躍できる環境づくり
- 文化・スポーツの推進

《安心・安全で、元気な地域の創出》

- 保健医療提供体制の整備
- 介護サービスの提供体制の整備
- 災害に強い基盤づくり
- 暮らしの安心・安全の確保
- 元気な地域づくりの推進

■ 大交流維新

- 国内外との交流基盤の整備
- 観光振興の推進
- 市場開拓の推進
- 人材の還流・移住・定住の推進

◆ 行財政基盤の強化

- 自治体間の連携強化
- 現場・成果・スピード重視の組織づくり
- 持続可能な行財政基盤の確立

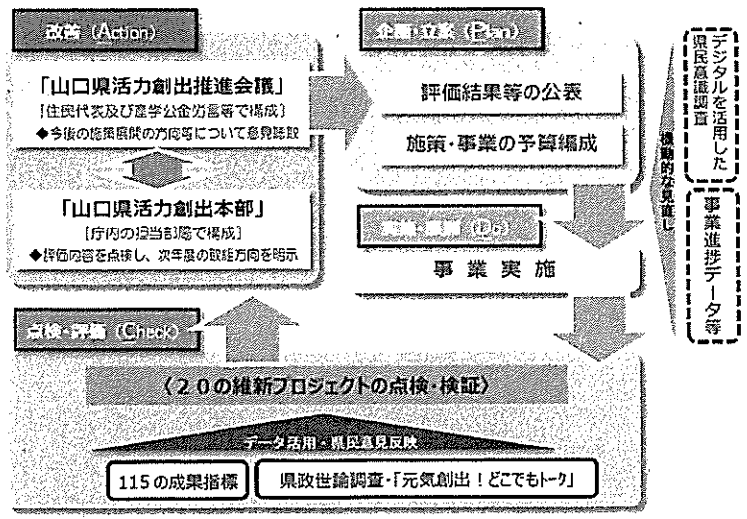
第8章 プランの着実な推進

■ プランの推進体制

プロジェクトの着実な推進を図るため、「山口県活力創出本部」において総合的な進行管理を行う。また、住民代表をはじめ、産官学金労言等で構成する「山口県活力創出推進会議」において、外部の知見を活用した成果検証と、今後の施策展開についての意見聴取を行う。

■ プランの進行管理

プロジェクトごとの進捗を数値目標の達成状況等により把握し、成果の検証を行った上で、施策や事業の改善につなげる。(PDCAサイクル)
また、デジタル技術を活用した県民意識調査やデータの収集・活用により機動的かつ柔軟に政策の見直しを行う。



報告事項 3

令和5年度(2023年度)山口県立学校職員(実習助手・寄宿舎指導員)採用
候補者選考試験の選考結果について

教職員課

記

1 概 要

実習助手については、志願者30人のうち、22人が受験し、選考の結果、6人を採用候補者名簿の登載予定者としてしました。

寄宿舎指導員については、志願者6人のうち、5人が受験し、1人を登載予定者としてしました。

倍率は、実習助手が3.7倍、寄宿舎指導員が5.0倍となりました。

職種、選考区分、志願区分別の採用候補者名簿登載予定者数、倍率等は、次のとおりです。

職種及び選考区分、志願区分別の受験状況及び採用候補者名簿登載予定者数等

| 職種 | 選考区分 | 志願区分 | 志願者数 | 受験者数 | 登載予定者数 | 倍率 A/B | |
|--------|-------------|--------------|------------|------------|--------------|----------------|--------------|
| | | | | A | B | | |
| 実習助手 | 一般選考 | 普通教科 | 14 (14) | 10 (12) | 1 (1) | 10.0 (12.0) | |
| | | 工業 | 機械系 | 6 (7) | 6 (5) | 2 (2) | 3.0 (2.5) |
| | | | 電気系 | 4 (6) | 2 (6) | 1 (2) | 2.0 (3.0) |
| | | | 化学工業系 | 1 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 1.0 (-) |
| | | | 土木建築系 | 4 (2) | 3 (1) | 1 (0) | 3.0 (-) |
| | 障害者を対象とした選考 | 一般選考の志願区分と同じ | 1 (1) | 0 (0) | 0 (0) | - (-) | |
| | 合計 | | 30 (31) | 22 (25) | 6 (6) | 3.7 (4.2) | |
| 寄宿舎指導員 | | 6 (5) | 5 (4) | 1 (1) | 5.0 (4.0) | | |

注 ・ () 内の数字は、昨年度のもの。

・昨年度合計には、今回実施していない水産(航海系)を含む。

2 その他

教員採用予定者と同様、採用予定者を対象に着任するまでの心構え等について学ぶ研修を、12月28日(水)に実施します。

《参考資料》

令和5年度（2023年度）山口県立学校職員（実習助手・
寄宿舎指導員）採用候補者選考試験の実施について

教職員課

1 選考区分、志願区分、採用見込者数及び職務の概要

| 職種 | 選考区分 | 志願区分 | 採用見込者数 | 職務の概要 | |
|-------------|--------------|------|-----------------|--|--------------------------|
| 実習助手 | 一般選考 | 普通教科 | 1人程度 | 普通教科の実験又は実習について、教諭の職務を助ける。 | |
| | | 工業 | 機械系 | 1人程度 | 工業の実験又は実習について、教諭の職務を助ける。 |
| | | | 電気系 | 1人程度 | |
| | | | 化学工業系 | 1人程度 | |
| | 土木建築系 | | 1人程度 | | |
| 障害者を対象とした選考 | 一般選考の志願区分と同じ | 1人程度 | 一般選考の「職務の概要」と同じ | | |
| 寄宿舎指導員 | / | | 1人程度 | 特別支援学校の寄宿舎における児童、生徒の日常生活上の世話及び生活指導（食事、入浴等日常生活全般に関する指導）に従事する（夜間勤務有り）。 | |

2 受験資格

昭和38年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた者
実習助手（工業）については、別に資格要件が必要

3 志願書類等の受付期間

令和4年8月24日（水）から9月12日（月）まで

4 試験の期日・場所

- (1) 期日 令和4年10月30日（日）
- (2) 場所 山口県セミナーパーク

5 試験の内容

- (1) 実習助手（普通教科）・寄宿舎指導員
教養試験、小論文、面接、適性検査
- (2) 実習助手（工業）
教養試験、専門教科試験、面接、適性検査

6 採用候補者名簿掲載予定者の発表等

- (1) 日時 令和4年11月30日（水）午前9時
- (2) 内容 採用候補者名簿掲載予定者の受験番号を掲載
- (3) 場所 山口県庁エントランスホール
山口県教育委員会の教職員課のwebページ

令和4年度県学力定着状況確認問題結果について【概要版】

山口県教育庁義務教育課
令和4年12月

1 実施概要

(1) 目的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。さらに、CBTで実施することにより、児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力、デジタル読解力等の資質・能力の育成を図る。

※CBTとは、Computer Based Testingの略であり、コンピュータを使用した調査のこと

(2) 実施期日

令和4年10月17日(月)から10月21日(金) 小学6年、中学2年

令和4年10月24日(月)から10月28日(金) 小学5年、中学1年

※ 学校の実情に応じて期間内で実施し、一日の実施教科数、実施教科の順序等は各学校が定めた。

(3) 実施対象及び実施内容

①小学校

| 学 年 | 実施人数 | 内容(時間) |
|------|---------|------------------|
| 第5学年 | 10,086人 | 国語、算数(各40分)及び質問紙 |
| 第6学年 | 10,627人 | 国語、算数(各40分)及び質問紙 |

②中学校

| 学 年 | 実施人数 | 内容(時間) |
|------|--------|---------------------|
| 第1学年 | 9,722人 | 国語、数学(各45分)及び質問紙 |
| 第2学年 | 9,691人 | 国語、数学、英語(各45分)及び質問紙 |

2 教科の問題に関する結果

(1) 平均正答率

①小学校

| | 国 語 | 算 数 |
|------|-------|-------|
| 第5学年 | 73.2% | 53.8% |
| 第6学年 | 63.8% | 55.8% |

②中学校

| | 国 語 | 数 学 | 英 語 |
|------|-------|-------|-------|
| 第1学年 | 62.2% | 60.4% | |
| 第2学年 | 68.9% | 57.6% | 53.7% |

(2) 教科の問題結果から見られる特徴

- ◇ 基礎的・基本的な内容を問う問題については、一定程度、成果や改善傾向が見られる。
- ◆ 基礎的・基本的な内容を活用して具体的な場面について考察する問題に課題が見られる。
- ◆ 記述式の問題に依然として課題が見られる。

| | | 主な成果 | 主な課題 |
|-----|----|--|---|
| 小学校 | 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ◇文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめること ◇接続する語句の役割について理解すること | <ul style="list-style-type: none"> ◆筋の通った文章になるように、文章全体の構成を考えること ◆文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること ◆自分の立場や意図を明確にし、メモをもとに自分の考えをまとめること |
| | 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ◇折れ線グラフのめもりを正しく読むこと ◇分数の除法の計算をすること ◇(2桁)×(1桁)の計算をすること | <ul style="list-style-type: none"> ◆整数÷小数の計算をし、あまりを正しく求めること ◆複合型のグラフから必要な情報を読み取り、問題解決に生かすこと ◆比較量と基準量を使って、割合を求める式を立てること ◆台形の面積の公式を導くこと ◆異種の二つの量の割合の求め方を理解すること |
| 中学校 | 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ◇叙述を基に、物語の全体像や人物像を捉えること ◇資料を効果的に活用して説明すること ◇目的に応じて、言葉と言葉との関係を整理すること | <ul style="list-style-type: none"> ◆四字熟語を理解すること ◆文節同士の関係や修飾語・被修飾語を理解すること ◆読んで考えたことや資料を基に考えたことを表現すること ◆聞き手の興味・関心などを考慮して、話し方を工夫すること |
| | 数学 | <ul style="list-style-type: none"> ◇分数の除法の計算をすること ◇直方体の体積を求めること ◇二元一次方程式の解の意味を理解すること ◇平行移動の特徴を理解すること | <ul style="list-style-type: none"> ◆正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解すること ◆平均を求める方法を式で表現すること ◆基準量と比較量を基に割合を求めること ◆事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明すること ◆投影図から図形の表面積を求めること ◆ヒストグラムを使って、理由を説明すること |
| | 英語 | <ul style="list-style-type: none"> ◇まとまりのある英語を聞いて、話の要点を聞き取ること ◇表や資料に示された内容を読んで、必要な情報を読み取ること | <ul style="list-style-type: none"> ◆聞いて把握した内容について、適切に応じること ◆文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと ◆社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の要点を読み取ること ◆日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、把握した内容についての質問に対して、適切に応じること |

(3) 特徴的な問題例

① 小学校国語

◇ 成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】 国語 小学校 6年 1 四

文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめること

正答率 87.9%

- (4) 森田さんは、お昼の校内放送で、【森田さんのメモ】をもとに、全校児童に、和食のよさと、それを食べられる給食のよさを伝えようと考えています。そのまとめとして全校児童に呼びかける最も適切な文を、次の中から一つを選びましょう。

- 給食を食べるときには、食文化について知り、食材の味や季節を感じながら食べましょう。
- 給食を食べるときには、日本だけではなく、世界の文化についても考えましょう。
- 給食を食べるときには、健康を守ることが大切だから、まず手洗いをしっかりしましょう。
- 給食を食べるときには、ユネスコ無形文化遺産のことを思い出して、知識を広げていきましょう。

【正答】 ア

◆ 課題の見られた問題

【問題例】 国語 小学校 5年 2 五

自分の立場や意図を明確にし、メモをもとに自分の考えをまとめること

正答率 41.4%

- (5) 田中さんは、次の話し合いに向けて、木下さんの<メモ>をもとに、サツマイモか白オクラのどちらかを選び、自分の考えを書くことにしました。あなたが田中さんなら、どのように書きますか。その内容を次の表に合わせ書きましょう。

〈条件〉

- サツマイモか白オクラのどちらかを選び、<メモ>にある問題点についての解決方法を考えて書くこと。
- 解決方法は、自分たちができることを考えて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、30字以上、50字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくまない。

※下にある、サツマイモか白オクラのどちらかのオレンジの字を選んで書きましょう。

※入力した文字数は解答らんの下に表示されます。

※右メニューの「解説」部分が「済」に変わりますが、そのままで構いません。

(正答例) (サツマイモをさいばいするのがよいと思います。草ぬきなどの世が大変という問題については、) 草ぬきをする日や時間を決めたり、当番で順番したりすればよいと思います。(35字)
(白オクラをさいばいするのがよいと思います。さいばいがむずかしいという問題については、) 農家の方に教えてもらったり、インターネットで調べたりするとよいと思います。(37字)

【解答類型】 誤答 (54.5%) 無答 (4.1%)

【問題例】 国語 小学校 6年 2 五

文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること

正答率 30.7%

- (5) 松本さんは、【コメントの一部②】をもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが松本さんなら、どのようなよさを書きましますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【意見文2】のよさを書くこと。
 - 【意見文1】から【意見文2】に書き直した部分を取り上げて書くこと。
 - 書き出しの言葉に続けて、50字以上、80字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくまない。
- ※入力した文字数は解答らんの下に表示されます。

(正答例) (わたしの文章のよさは、) タブレットを使うよさを伝えるために、自分の経験をもとに具体的に書いたり、自分とは異なる状況の人にとってのよさについても書いたりしたところです。
(71字)

【解答類型】 誤答 (62.5%) 無答 (6.8%)

②小学校算数

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】算数 小学校6年 1 (4)

分数の除法の計算をすること

正答率 80.7%

(4) $\frac{15}{28} \div \frac{21}{20}$

【正答】 イ $\frac{25}{49}$

【誤答類型】 ア $\frac{9}{16}$ (11.2%)

◆課題の見られた問題

整数÷小数の計算をし、あまりを正しく求めること

【問題例】算数 小学校5年 1 (2)

正答率 25.8%

小学校6年 1 (2)

正答率 30.6%

(2) $75 \div 3.7$ (商は整数で求め、あまりも出しましょう。)

【正答】 20あまり1

【誤答類型】

5年…2あまり1 (35.4%) 20あまり10 (22.3%) 2あまり10 (16.0%)
 6年…20あまり10 (31.5%) 2あまり1 (21.8%) 2あまり10 (15.9%)

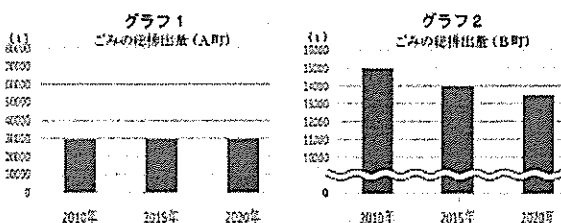
【問題例】算数 小学校6年 5 (2)

異種の二つの量の割合の求め方を理解すること

正答率 23.3%

5 次の問題に答えましょう。

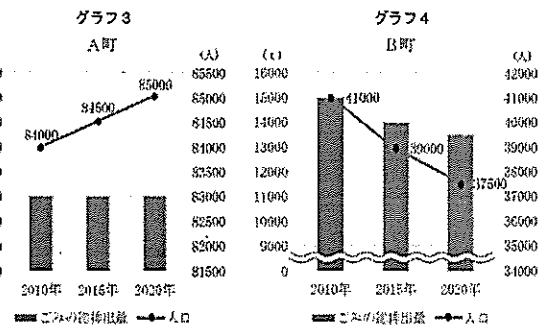
社会科の時間で、ごみの問題について学習したふみかさんと、ひなさんは、自分たちの住んでいるA町と、となりのB町のごみの量について調べました。あとの(1)から(3)の問題に答えましょう。



ふみかさん: わたしたちの住んでいるA町のごみの総量はなかなか減らないみたいだね。

ひなさん: でも、最近、A町にはたくさんの住宅地ができ、住んでいる人が増えていると聞いたよ。人口も調べてみると、一人ひとりが出しているごみの量について分かるのではないかな。

人口について気になったふみかさんたちは、グラフ1、グラフ2に人口の折れ線グラフを加えたグラフ3、グラフ4について調べてみました。



(2) 2020年の1年間で、A町において1人あたりが出したごみの量を求めるための式を完成させます。□にあてはまる数を答えましょう。

□ ÷ □

【正答】 $30000 \div 85000$

【誤答類型】

85000, 30000 (24.2%) 85000, 83000 (9.3%)

③中学校国語

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】国語 中学校2年 1 4 1 5

表現や描写の工夫を捉えること

正答率 78.7%

4 Bの野菜は何ですか。最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。
ア にんじん イ ごぼう ウ さつまいも エ だいこん

【正答】 エ

物語の全体像を捉えること

正答率 83.5%

5 【文学的文章の一部】のとうもろこしとBの野菜の共通点は何ですか。最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。
ア 自分が理想としているような成長ができず、悩みを抱えている。
イ 自分を育てている主人の妻に対して、いくつもの不満を抱えている。
ウ 自分のいる環境に合わせて、うまく成長できて満足している。
エ ほかの野菜と協力して、ともに成長したいと心から願っている。

【正答】 ア

◆課題の見られた問題

【問題例】国語 中学校1年 2 2

四字熟語について理解すること

正答率 14.2%

2 次の()に入る数字を【数字】から選び、四字熟語を完成させなさい。また、完成した四字熟語の意味を、【意味】のアからエまでの中から一つ選びなさい。(完答)

()日()秋

【数字】一 二 三 十 百 千 万

【意味】ア 計画や予想が全てあたること
イ 人によって好みや考え方がちがうこと
ウ 二つのうちの一つを選ぶこと
エ 待ちわびて時間が長く感じること

【正答】 (一)日(千)秋 エ

【問題例】国語 中学校2年 3 3

聞き手の興味・関心などを考慮して、話し方を工夫すること

正答率 32.0%

3 【熟議の内容】の和田さんの説明の仕方として、最も適切なものを、次のアからエまでの中から全て選びなさい。

ア 呼びかけや問いかけなどを取り入れながら説明している。
イ これまでの取組の成果を根拠にあげながら説明している。
ウ 取組の具体的な方法についてたずねながら説明している。
エ 取り組みたいことの理由をあげながら説明している。

【正答】 ア エ

【解答類型】アのみ (18.0%) イのみ (4.7%) ウのみ (6.6%) エのみ (21.4%)

④中学校数学

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】数学 中学校2年 3 (2)

二元一次方程式の解の意味を理解すること

正答率 76.3%

(2) 二元一次方程式 $x + y = 6$ の解について、次のア～エの中から正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア $x + y = 6$ の解は、(1, 5) の1組だけである

イ $x + y = 6$ の解は、(1, 5) ともう1組ある

ウ $x + y = 6$ の解は、無数にある

エ $x + y = 6$ の解は、存在しない

【正答】 ウ

【誤答類型】 イ (14.0%)

〔類題〕平成29年全国学力・学習状況調査 数学 中学校3年 3 (3)

二元一次方程式の解の意味を理解すること 正答率 60.2%

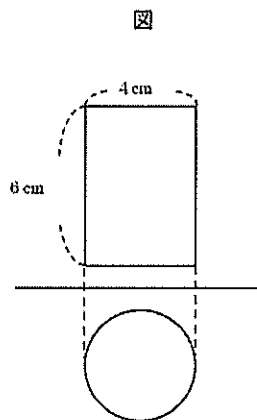
◆課題の見られた問題

【問題例】数学 中学校2年 5 (2)

投影図から図形の表面積を求めること

正答率 17.4%

(2) 次の図は、円柱を投影図に表したものである。この円柱の表面積を求めなさい。



【正答】 32π (cm²)

【誤答類型】 24π (20.1%)、 28π (7.6%)、 24 (4.1%)

〔参考〕平成30年全国学力・学習状況調査 数学 中学校3年 5 (3)

見取図、投影図から空間図形(円柱)を読み取ること 正答率 84.0%

⑤中学校英語

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】英語 中学校2年 ③ (1)

まとまりのある英語を聞いて、話の要点を聞き取ること

正答率 89.5%

③ (1) レベッカ(Rebecca)とジェイク(Jake)が話をしています。話している内容として最も適切なものを、ア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

【放送原稿】

R: Jake, what do you want to be?

J: I want to be a tennis player.

R: Why?

J: Because I like tennis.

R: That's nice.

J: How about you?

What do you want to be, Rebecca?

R: I want to be an actor.

J: Why?

R: Because I like movies.

I like Emma Watson.

I want to be in a movie with her.

J: That's a great dream.

ア レベッカは、テニス選手になりたい。

イ ジェイクは、ミュージシャンになりたい。

ウ ジェイクは、ダンサーになりたい。

エ レベッカは、俳優になりたい。

【正答】 エ

◆課題の見られた問題

【問題例】英語 中学校2年 ⑧ (2) ②

社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の要点を読み取ること

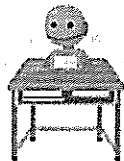
正答率 39.4%

⑧ 次の英文は ALT の先生が、授業で読むために持ってきた新聞記事です。その記事を読み、あとの問いに答えなさい。

Jane is 10 years old. She lives in London, the U.K. She is very sick and she can't go to school. She must stay at home for a long time.

One day, a special robot came to her school and now it sits in her place at school. The robot plays a very important role for her. It has a light on its head. The light turns on and off when Jane wants to say something. Her teacher and friends can talk to her, and laugh with her during class through the robot. She is at home, but she can be a part of the class.

There are other similar robots in the world. Thanks to robots like this, when a child can't go to school, he or she does not feel alone. They can feel that they are in the classroom.



(2) この記事を読んだ後、ALTの先生が2つ質問をしました。その質問に対する答えとして最も適切なものを、ア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

② ALTの質問 その2

Why are these robots important for students like Jane?

ア The students can be good at science.

イ The students can play with the robot.

ウ The students can be sad.

エ The students can join the class.

【正答】 エ

【誤答類型】 ア (9.7%)、 イ (36.1%)、 ウ (13.7%)

【参考】平成31年全国学力・学習状況調査 英語 中学校3年 ⑦

まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を読み取ること 正答率 33.5%

3 児童生徒質問紙調査の結果 (○：成果 △：一部成果 ●：課題)

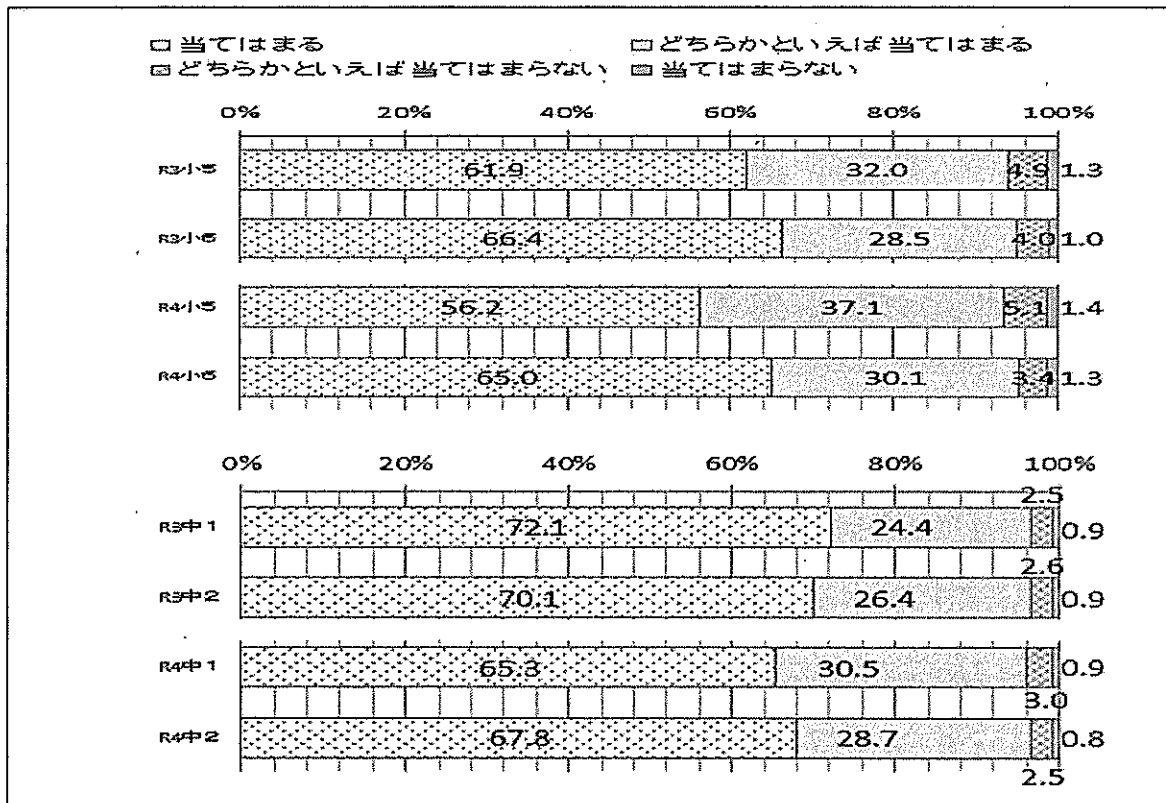
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善】

【質問1】授業の中で、授業の目標（めあて、ねらい）が示されていると思いますか。

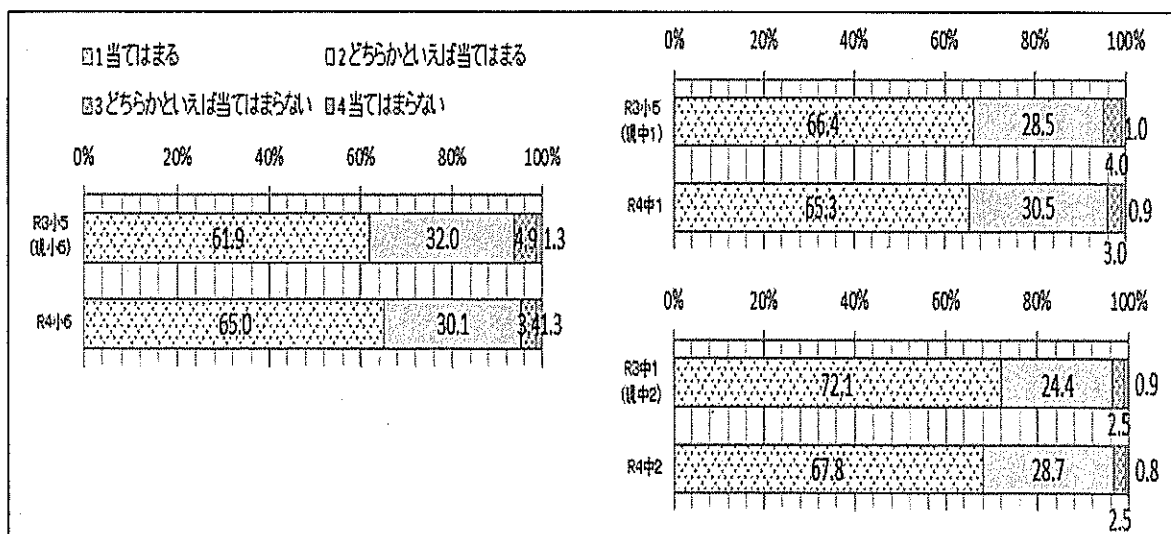
● 「当てはまる」と回答した割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で減少している。

△ 「当てはまる」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、小学6年生では増加しているが、中学1・2年生では減少している。

【令和3年度調査との比較】



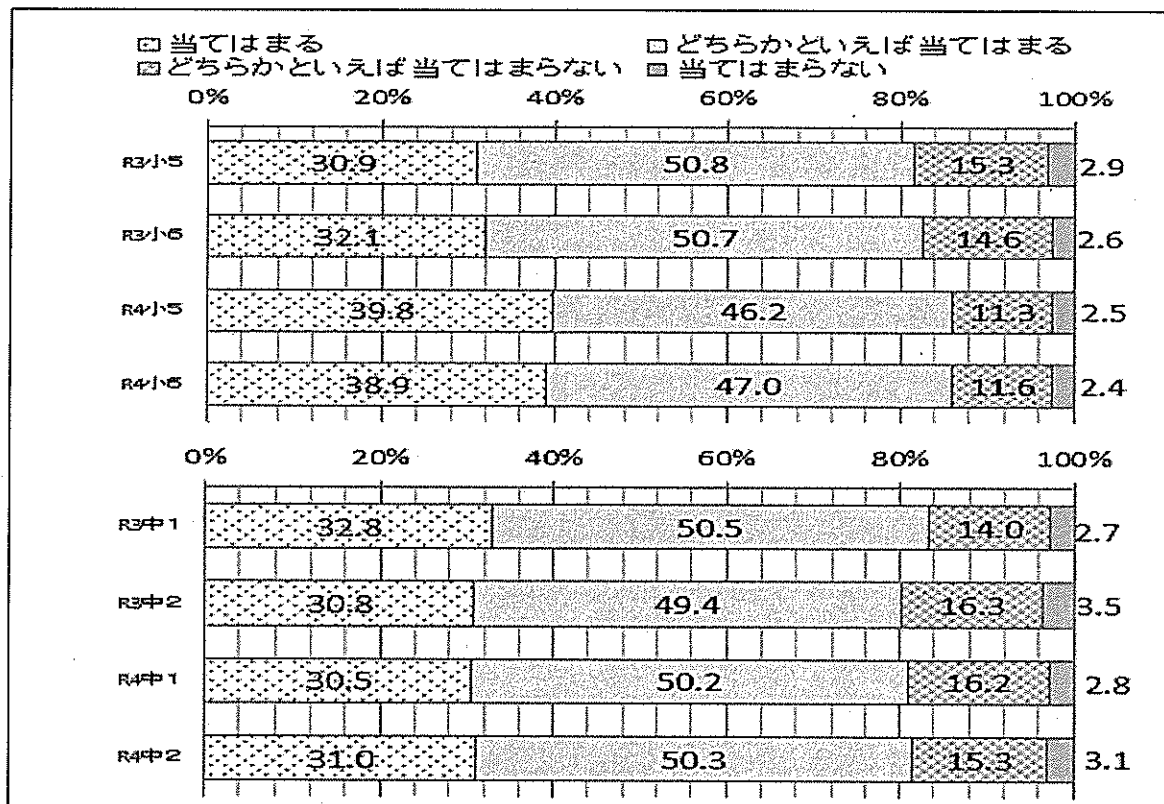
【同一の児童生徒集団で比較】



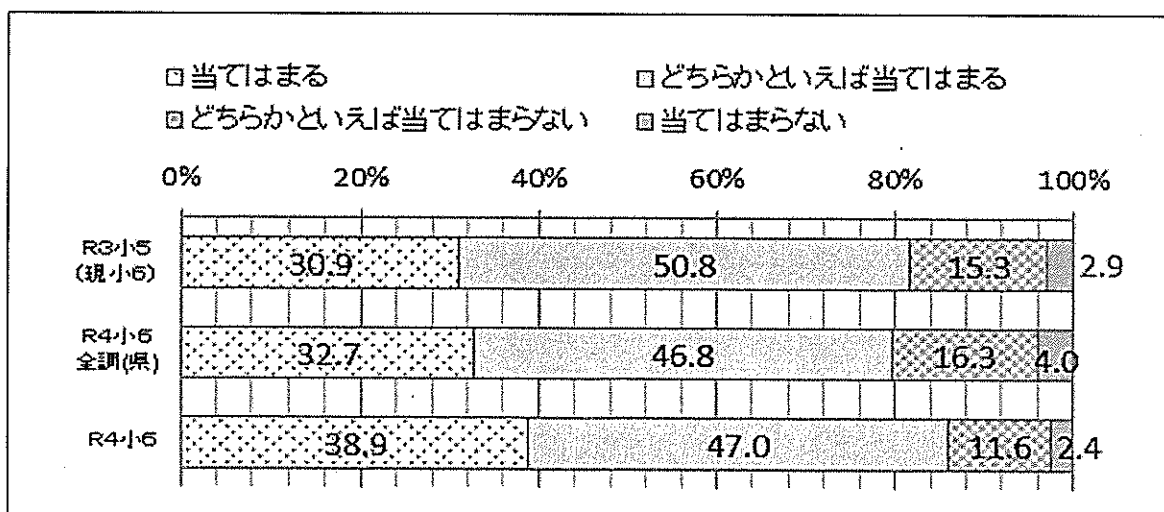
【質問2】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し（振り返り）、次の学習につなげることができていると思う。

- △ 「当てはまる」と回答した割合は、昨年度と比べると、小学校では増加しているが、中学校では大きな変化はない。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童集団で比較すると、増加している。

【令和3年度調査との比較】



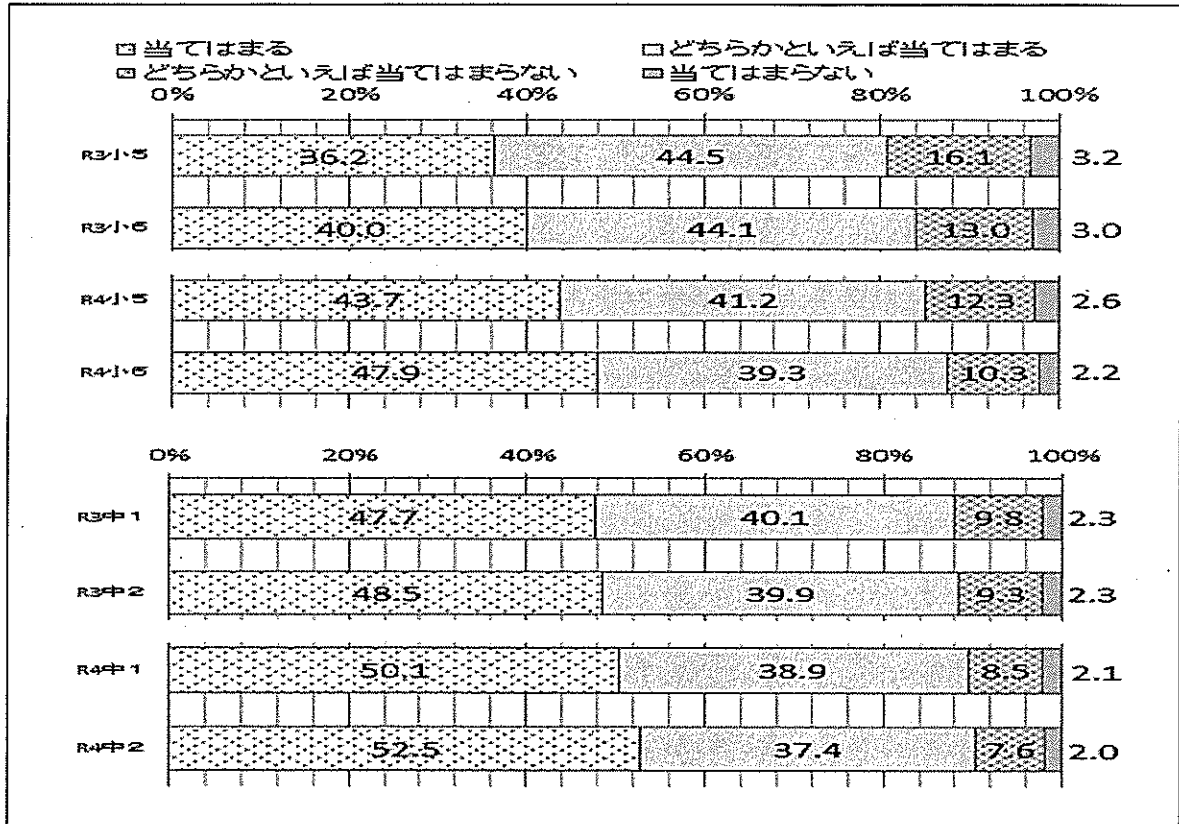
【同一の児童集団で比較】



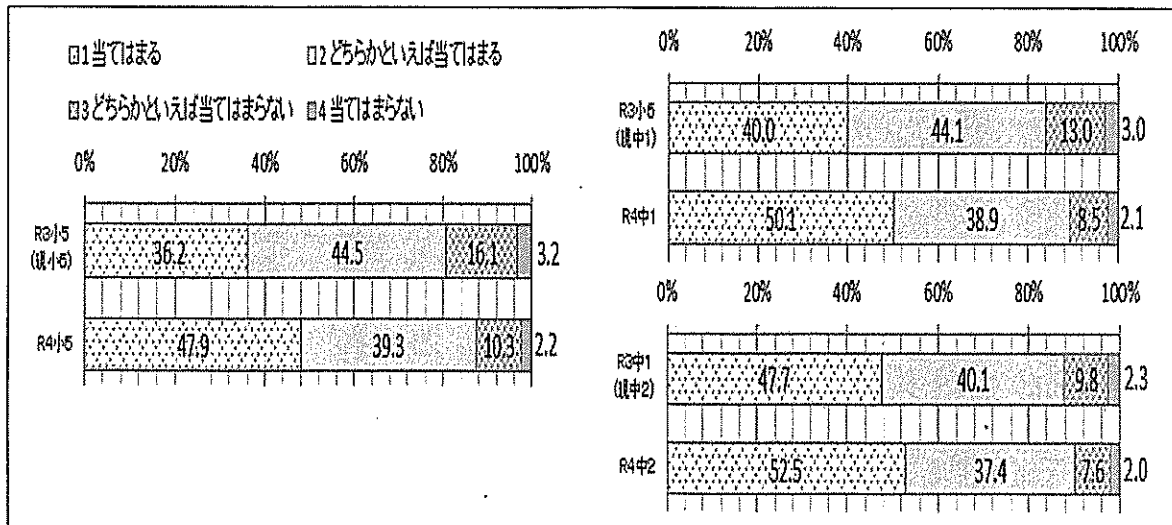
【質問6】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。

- 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で増加している。

【令和3年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】

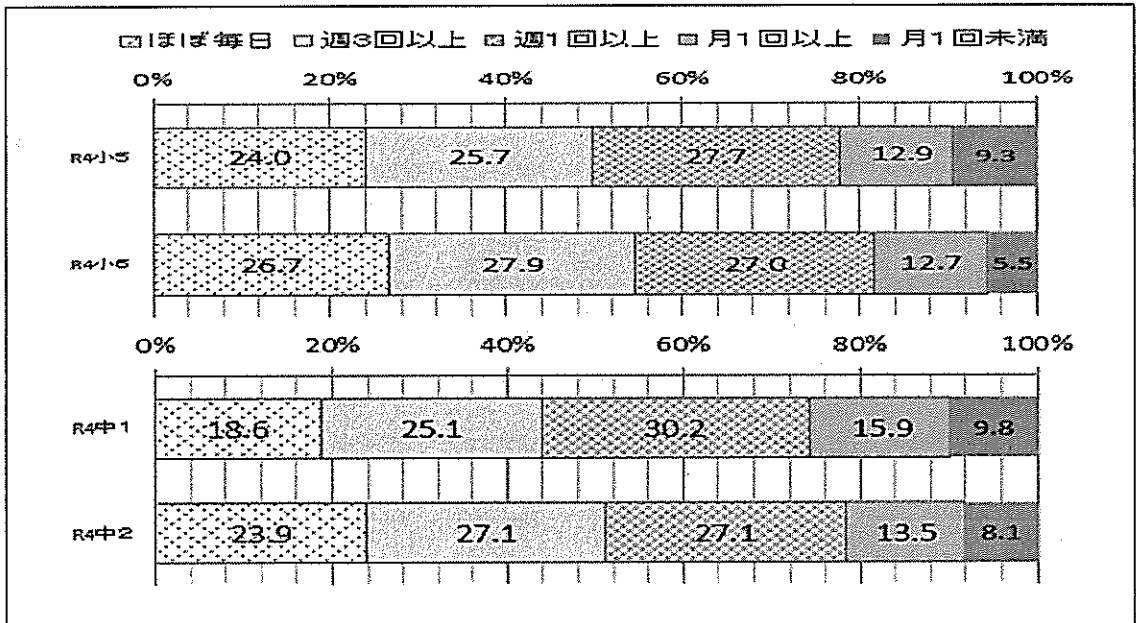


【ICT活用】

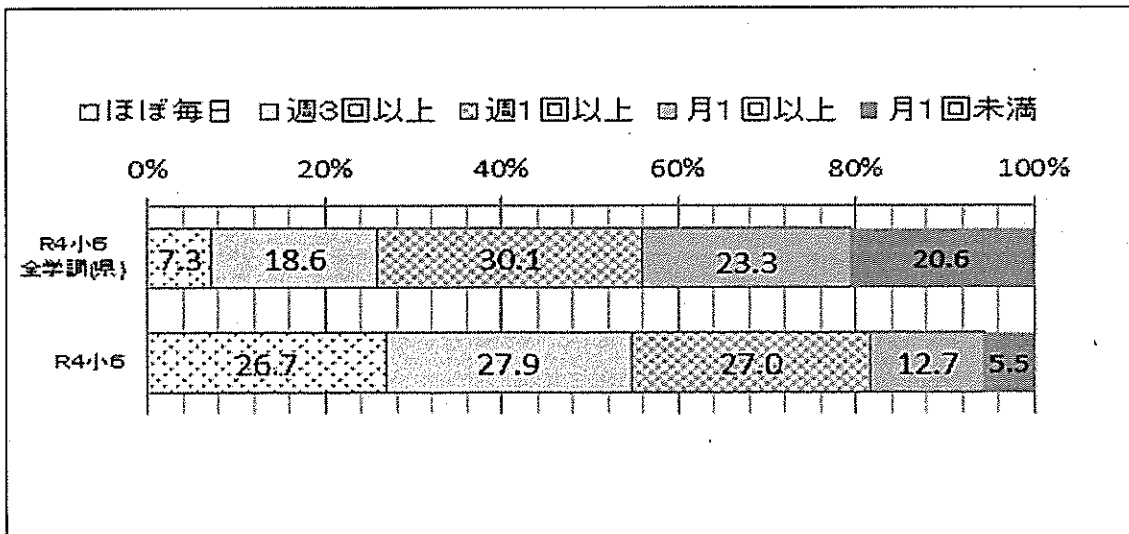
【質問13】あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。

- 「週1回以上」と回答した割合は、全ての学年で70%を上回っている。
- 「ほぼ毎日」と回答した割合を、同一の児童集団で比較すると、大幅に増加している。

【今年度調査の結果】



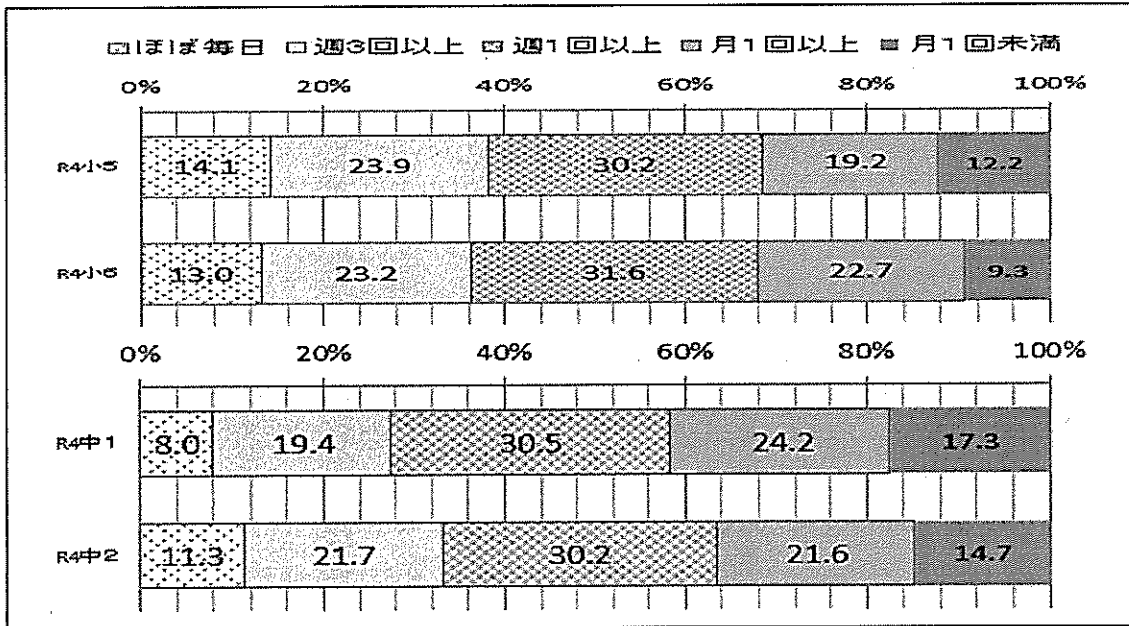
【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)



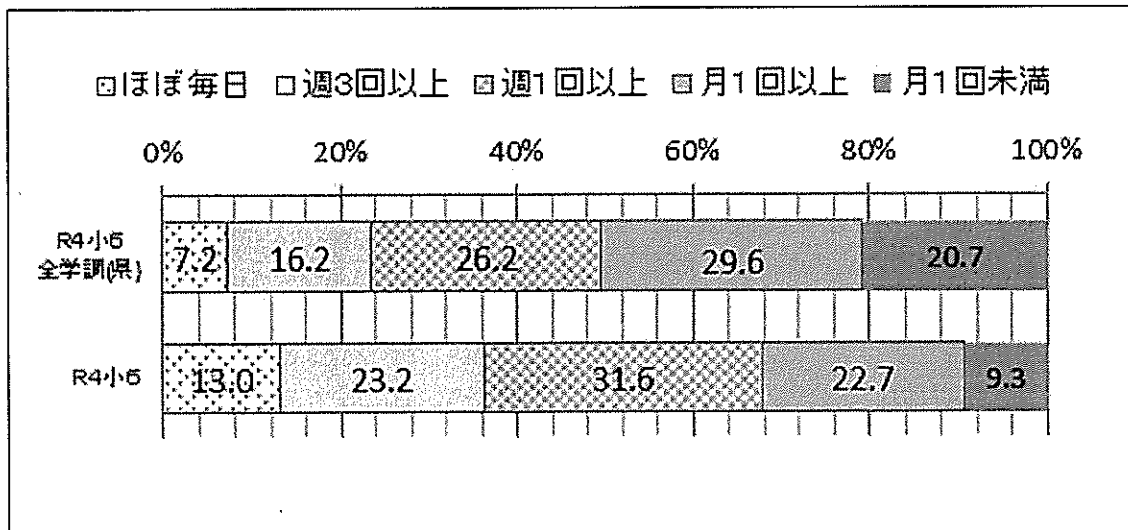
【質問14】あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、自分の考えをまとめ、発表する場面で、どの程度使用していますか

- 「週1回以上」と回答した割合は、全ての学年で50%を上回っている。
- 「ほぼ毎日」と回答した割合を、同一の児童集団で比較すると、増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)

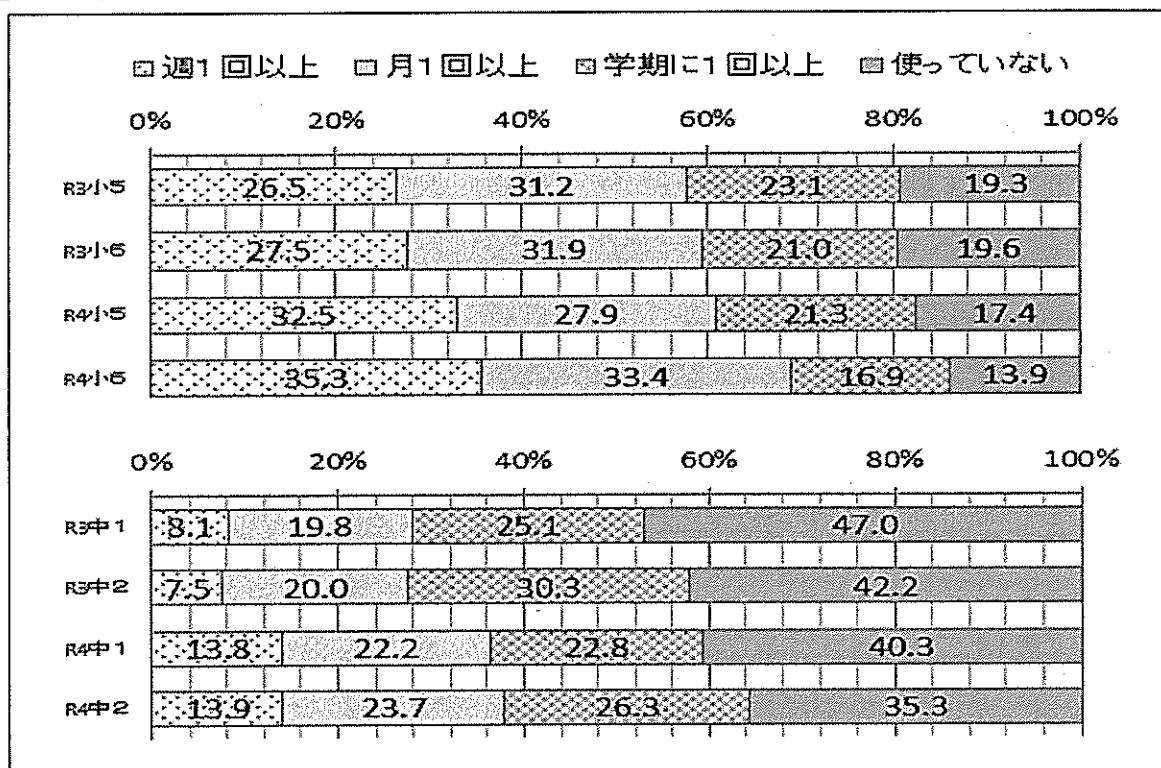


【学習支援プログラムの活用】

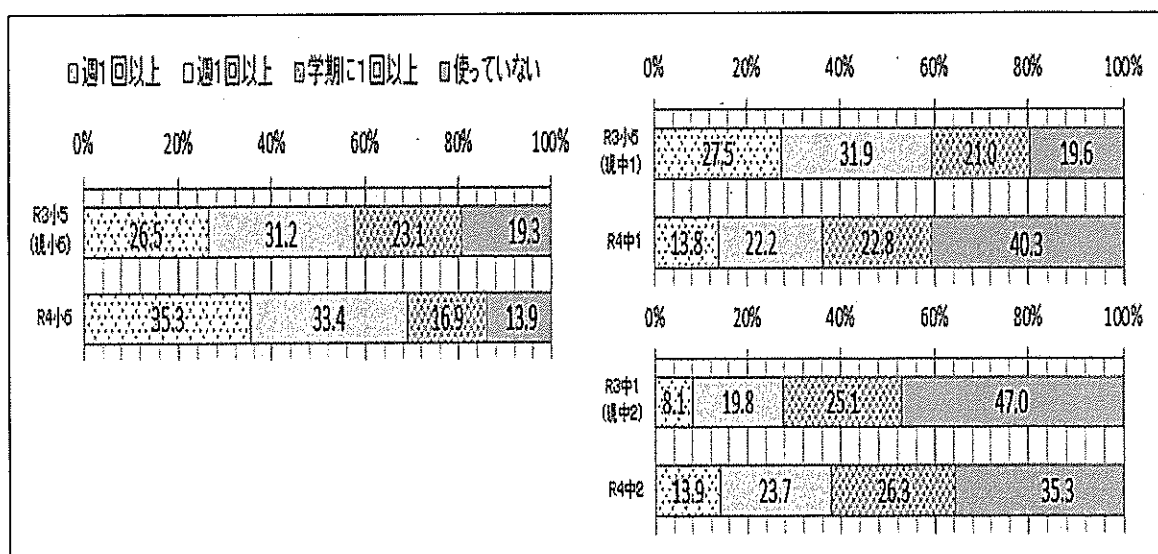
【質問15】やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。

- 「週1回以上」と回答した割合は、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。
- △ 同一の児童生徒集団で比較したとき、小学校から中学校への変わり目で肯定的な回答の割合が大きく減少している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童生徒集団で比較】

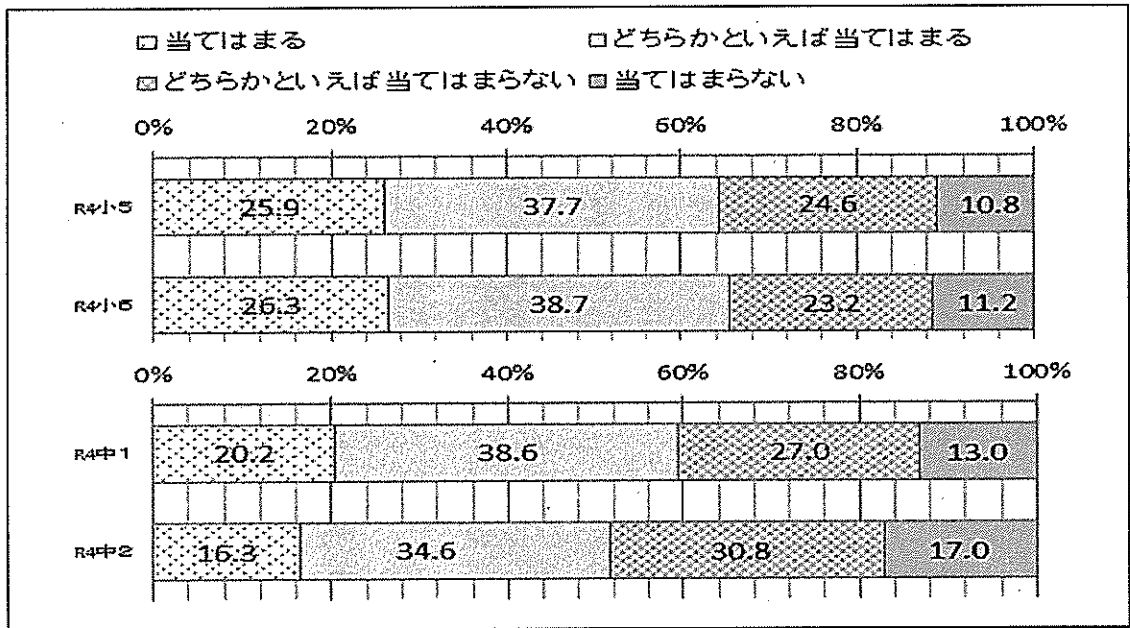


【家庭学習等の習慣】

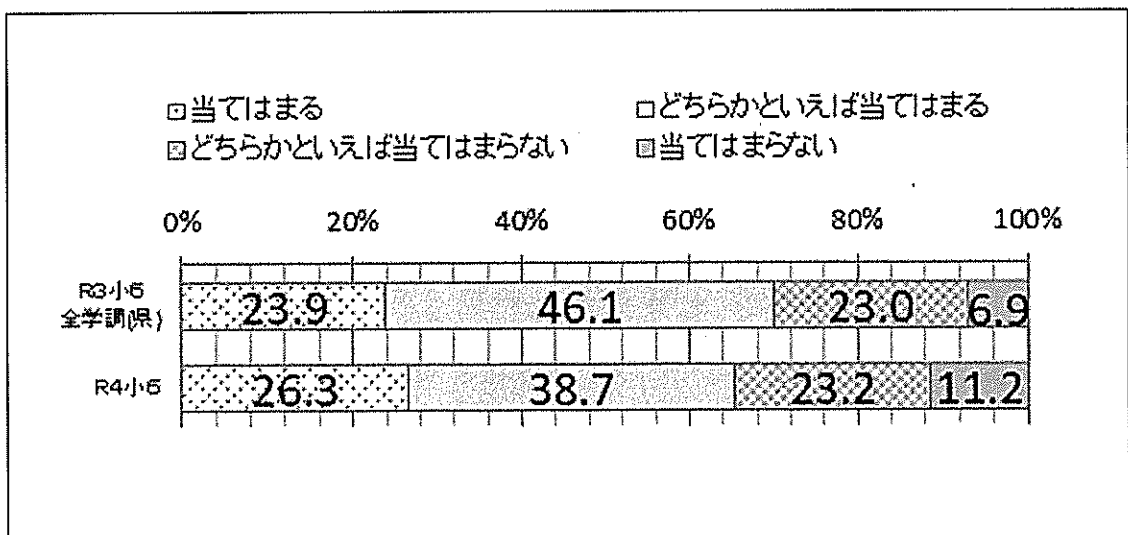
【質問17】家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含みます。)

○ 肯定的な回答をした割合は、全ての学年で50%を上回っている。
 △ 同一の児童集団で比較すると、「当てはまる」と回答した割合は増加しているが、「当てはまらない」と回答した割合も増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)

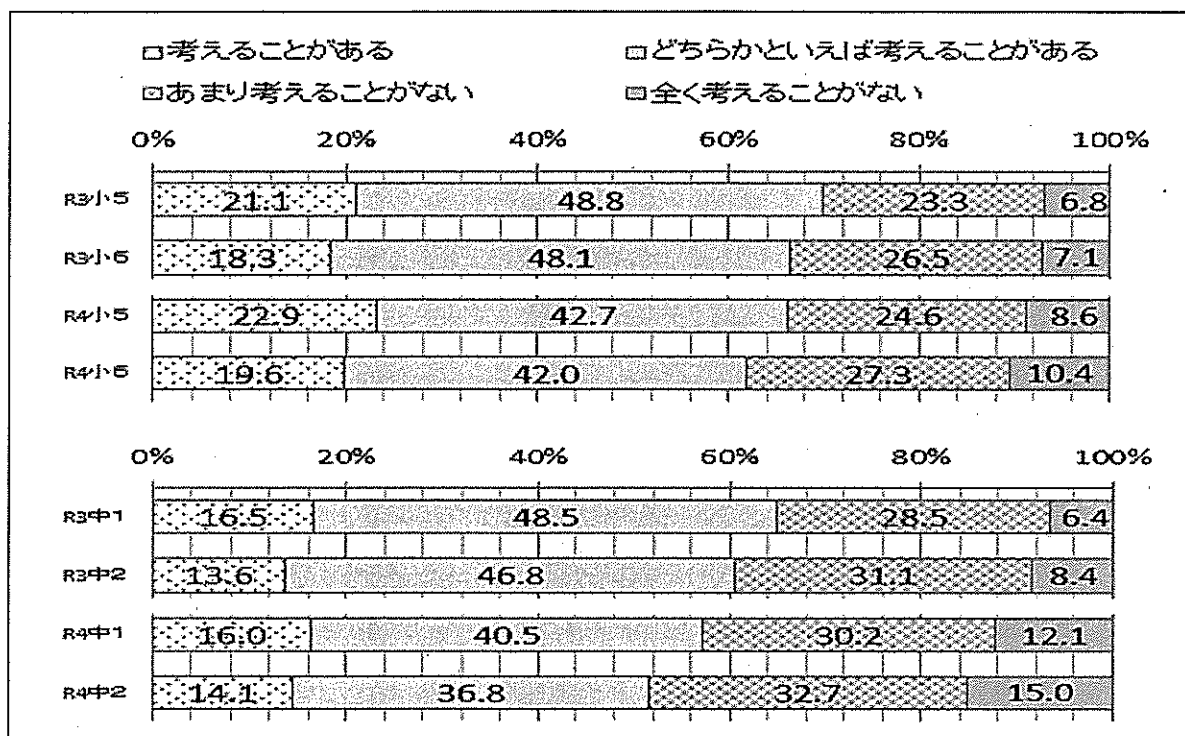


【社会に開かれた教育課程の実現】

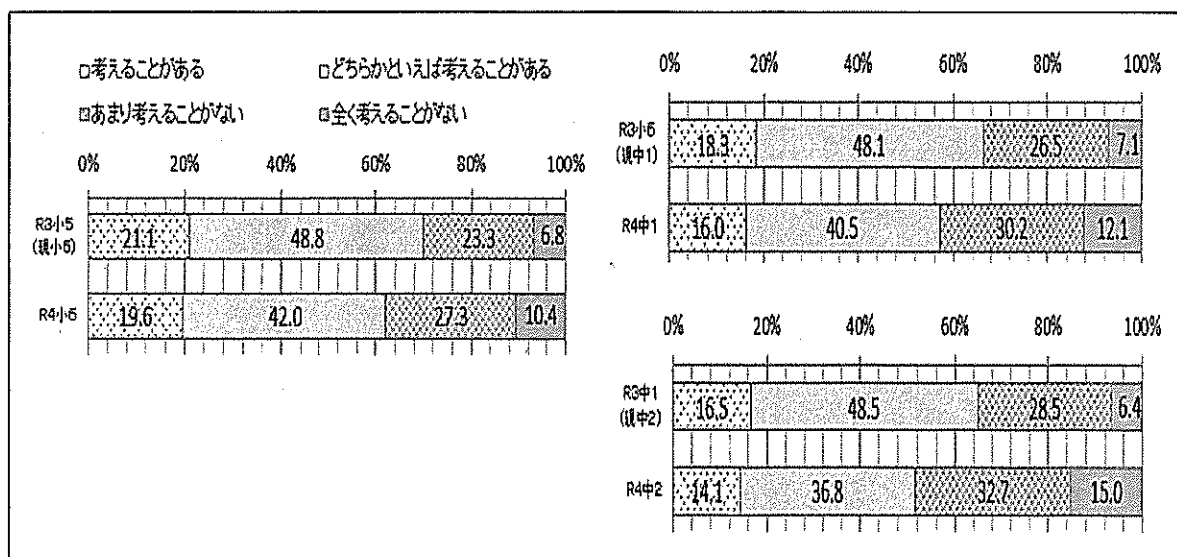
【質問19】 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

- 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で減少している。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較しても、全ての学年で減少している。

【令和3年度調査との比較】



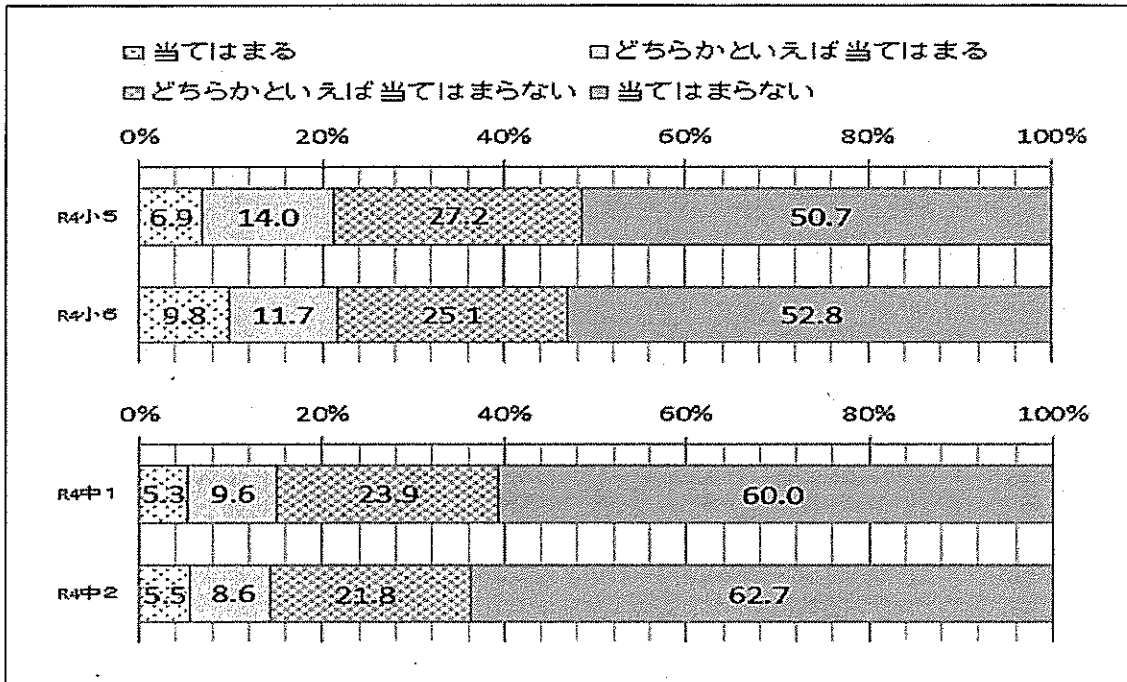
【同一の児童生徒集団で比較】



【質問21】 地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。

- 肯定的な回答をした割合は、小学校では 20%程度、中学校では 20%を下回っている。
- 「当てはまらない」と回答した割合が全ての学年で 50%を上回っており、多くの児童生徒が熟議に参加していないと予想できる。

【今年度調査の結果】



4 今後の取組について

(1) 各市町教委との合同研修会で情報共有

- やまぐちっ子学習プリントの効果的な活用
- 振り返りの充実をめざした授業改善
- 学校担当指導主事制を活用した学校訪問などの伴走支援 等

(2) CBTの結果を生かした研修会等の充実

- ミドルリーダーや若手教員等を対象とした研修会の実施
- 学校訪問等を通じた校内研修の充実
- 学力向上検証改善委員会の実施 等

(3) 確認問題CBTシステムの特性を生かした復習

- 児童生徒が自分で選んだ問題への取組
 - ・間違えた問題をCBTシステムで、もう一度取り組む
 - ・間違えた問題に関連するやまぐちっ子学習プリントに取り組む
- システムが表示する問題への取組
 - ・「あなたの実力であれば正解できる問題が○問あります」と示される問題に取り組む

高校生等の就職支援対策について

1 令和5年3月新規高等学校等卒業予定者の求人・求職・就職内定状況

令和4年10月末日現在（山口労働局調べ）

| 項目 | 性別 | 合計 | 男子 | 女子 | 対前年同期比 |
|--------------------------|---------------------|------------------|------------------|----------------|-----------|
| | | | | | |
| A 求人数 | 県内 ハローワーク 受理数 | (5,450) 6,188 | | | 13.5% |
| | | | | | |
| B 就職 希望 者数 | 県内就職 希望者数 | (2,152) 2,061 | (1,335) 1,272 | (817) 789 | ▲ 4.2% |
| | 県外就職 希望者数 | (412) 410 | (334) 333 | (78) 77 | ▲ 0.5% |
| | 合計 | (2,564) 2,471 | (1,669) 1,605 | (895) 866 | ▲ 3.6% |
| C=A/B 求人倍率 | | (2.13) 2.50 | | | 0.37ポイント |
| D 就職 内定 者数 | 県内就職 者数 | (1,915) 1,874 | (1,218) 1,172 | (697) 702 | ▲ 2.1% |
| | 県外就職 者数 | (395) 389 | (327) 321 | (68) 68 | ▲ 1.5% |
| | 合計 | (2,310) 2,263 | (1,545) 1,493 | (765) 770 | ▲ 2.0% |
| E=D/B 就職 内定率 | 県内 就職 | (89.0) 90.9 | (91.2) 92.1 | (85.3) 89.0 | 1.9ポイント |
| | 県外 就職 | (95.9) 94.9 | (97.9) 96.4 | (87.2) 88.3 | ▲ 1.0ポイント |
| | 合計 | (90.1) 91.6 | (92.6) 93.0 | (85.5) 88.9 | 1.5ポイント |
| F 県内・県外 就職内定 比率 | 県内 就職 | (82.9) 82.8 | (78.8) 78.5 | (91.1) 91.2 | ▲ 0.1ポイント |
| | 県外 就職 | (17.1) 17.2 | (21.2) 21.5 | (8.9) 8.8 | 0.1ポイント |

- (注) 1. ()内は昨年同期の数値である。
 2. A欄: 求人数は、山口県内のハローワークで受理した求人数である。
 3. B欄: 就職希望者数は、学校又はハローワークの紹介を希望する者の数である。
 4. C欄: 求人倍率は、Aの求人数/Bの就職希望者数(合計)である。
 5. F欄: 県内・県外就職比率は、令和4年10月末日現在における就職内定者の合計2,263人に対する県内・県外就職内定者(1,874人、389人)の比率である。

2 令和5年3月新規高等学校等卒業予定者への支援

(1) 本年度の主な取組等

- 県内就職促進統括マネージャーの県央部への継続配置
 - ・ 県内企業の情報等の集約、連携機関との窓口一元化、県内全域での広域マッチング※ 就職サポーター等と連携した地域別情報交換会を、6月以降実施
- 昨年度開設した1人1台タブレット端末専用のやまぐちスマートスクールポータルサイト内の「山口県の産業教育／就職支援」に、企業説明動画やU・Iターン者へのインタビュー動画、就職に向けた意識の醸成につながる資料等を掲載
- ガイドンスの充実（県内就職ガイドンス等充実事業）
 - ・ 地域に就職した卒業生や山口県にIターン等した若者が、山口県や県内企業の魅力などについて生徒に語りかける座談会等を各学校で実施
 - ・ 就職に向けた意識の醸成を図るためのガイドンス等（ICTを活用したオンライン面接への対応含む）を各学校で講師を招いて実施
 - ・ オンライン面接対策動画（生徒用・教員用）の配信
- 県内企業就職説明会の実施
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、6月に県内4会場（下関、岩国、山口、下松）で対面方式の面談を実施
 - ・ 就職に向けた企業選択を行う前に、高校生に企業から情報を伝える機会を確保するため、昨年度に引き続き、1社5分程度の県内企業説明動画（122社）を学校へ配信
 - ・ 未内定者への支援として、10月に県内1会場（山口）で実施
- 高校生県内就職促進プロジェクトチームにおける継続協議・検討

(2) 今後の取組

- 就職未内定者への支援（県内求人情報の提供等）
 - ・ 県内就職促進統括マネージャーを中心に県内全域の情報を共有し、教員やチーフ就職サポーター、就職サポーター、総合支援学校就職支援コーディネーターによる県内企業情報の提供・マッチング等のきめ細かな就職相談
 - ・ 山口労働局作成の未充足高卒求人リストによるマッチングの促進
- 就職サポーター等による2年生を対象とした早期からの個別面談の実施

3 県立特別支援学校における支援

(1) 令和5年3月新規卒業予定者の求職・就職内定状況

令和4年10月末日現在（特別支援教育推進室調べ）

| | 希望者数(人) | 内定者数(人) | 内定率(%) | 前年同期比 |
|-------|--------------|-----------|----------------|----------|
| 就 職 | (84) 90 | (9) 11 | (10.7) 12.2 | +1.5ポイント |
| 福祉施設 | (135) 136 | (3) 0 | (2.2) 0.0 | -2.2ポイント |
| そ の 他 | (5) 5 | | | |

- ・ 「その他」とは、「進学」「就職」「福祉施設利用」に該当しない者であり、病気療養による在宅者等
- ・ ()内は前年同期の数値

(2) 令和5年3月高等部卒業予定者への支援

ア 新たな現場実習先の開拓と現場実習の充実

- 総合支援学校就職支援コーディネーターによる実習先の開拓及び障害者雇用への理解促進
- ハローワーク等との連携強化による職域の拡大及び実習先の開拓
- 本人の希望や適性と企業のニーズとのマッチングの促進及び主体的な進路選択に向けた早期からの現場実習の充実

イ 関係機関との連携強化による就職支援

- ハローワークや障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、労働政策課、特別支援教育センター等との連携強化
- 関係機関との個別の進路相談やケース会議を通じた現在の状況把握、就職支援情報や福祉サービス事業所の利用等に関する情報提供を行うなどの支援継続

